

NOMADIC™

P1000

ユーザーガイド



NOMVDIC™  
お買い上げいただきありがとうございます。  
ございます。

NOMVDIC™ は、探求することをこよなく愛する人の集まりによって設立されました。ユーザー中心であり、テクノロジーベースの企業として、弊社は自宅という概念の次元を高め、あなたのライフスタイルに合わせてエンターテインメントの無限の可能性を追及できる製品を開発しています。NOMVDIC は、今よりも先を目指す人のためにあります。

重ねまして、NOMVDIC™ 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

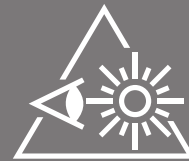


# 安全のための注意

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

- 注意や警告はすべてお読みになり、その指示に従ってください。
- 適切な通気のために、本機の周囲は最低 20" (50 cm) のスペースを保ってください。
- 本機は通気のよい場所に設置してください。熱がこもるため、本機の上に物を載せないでください。
- 本機は平坦な安定した場所に設置してください。本機が落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本機が作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。
- 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。
- 本機を動かす時には、落としたりぶつけたりしないでください。
- 本機や接続ケーブルの上に重い物を載せないでください。
- 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり故障したりする恐れがあります。
- 本機を直射日光や熱源の熱にさらさないでください。ラジエーターやヒーター、ストーブ、その他の熱源（アンプなど）の近くに本機を設置すると、本機が高温になり危険です。
- 本機の上または近くに液体を置かないでください。本機の内部に液体がこぼれると故障の原因になります。本機が濡れてしまった場合は、コンセントからプラグを抜き、弊社まで補修を依頼してください。
- 本機が作動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。

- 有極プラグやアースプラグの安全対策は外さないでください。有極プラグには2つのブレードがあり、1つはもう片方よりも幅広になっています。アースタイプのプラグには2つのブレード、接地用突起が1つあります。幅広のブレードと3つ目の突起は安全対策用です。プラグがコンセントに合わない場合は、無理にプラグをコンセントに差し込もうとしないでください。
- コンセントに差し込むときに、接地用突起を切除しないでください。接地用突起は絶対に外さないでください。
- 電源コードは特にプラグ部分を踏みつけたり、強く挟んだりしないでください。
- 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。本機は電源が AC100 ~ 240 V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ±10 V のサージが発生すると故障する可能性があります。電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 煙、異常音、異臭が認められる場合は、直ちに本機の電源を切り販売店または NOMVDIC™ にお問合せください。本機を使い続けることは危険です。
- 付属品 / アクセサリは、メーカーが指定するものだけをご使用ください。
- 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから AC 電源コードを抜いてください。
- 点検修理については、すべてサポートセンターにお問い合わせください。



RG2

**注意：**この製品からは、光放射が放出される可能性があります。他の光源同様、直接光線を見つめることはお止めください。RG2 IEC 62471-5:2015。

# 目次

---

<b>安全のための注意</b> .....	<b>3</b>
<b>目次</b> .....	<b>5</b>
<b>はじめに</b> .....	<b>9</b>
梱包内容 .....	9
概要 .....	10
プロジェクター .....	10
リモコン .....	13
<b>初期設定</b> .....	<b>15</b>
位置の選択 - 投写方向 .....	15
投写サイズ .....	16
プロジェクターの取り付け .....	18
<b>接続</b> .....	<b>19</b>
電源に繋ぐ .....	19
DC 電源 (コンセント) .....	19
外部デバイスの接続.....	21
HDMI 接続 .....	21
USB C 接続 .....	22

無線の画面ミラーリング .....	24
オーディオ接続 .....	25
Bluetooth スピーカー .....	25
Bluetooth 音声出力.....	26
ネットワークへの接続 .....	27
Wi-Fi 接続 .....	27
カスタム SSID .....	28
NOMVDIC リモコンアプリ .....	29
<b>プロジェクターを使う .....</b>	<b>30</b>
プロジェクターの起動 .....	30
初回アクティベーション .....	31
Bluetooth ペアリング .....	31
言語 .....	32
ネットワーク設定 .....	33
入力源の選択.....	34
投写画像の調整 .....	36
画質の明瞭さの微調整 .....	36
台形補正 .....	36
四隅の調整.....	37
プロジェクターをシャットダウンする .....	38

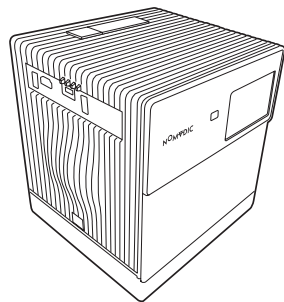
<b>メニューの操作</b> .....	<b>39</b>
Android システムを使う - ホーム画面.....	39
ホーム画面 - オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー構造 .....	41
ファイル管理.....	44
アプリセンター .....	52
設定.....	54
画面ミラーリング .....	64
Bluetooth.....	65
アプリ追加.....	66
プロジェクターシステムのオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用 .....	67
プロジェクターシステムのオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー構造 .....	68
表示メニュー.....	75
画像メニュー.....	78
電源管理メニュー .....	81
基本設定メニュー .....	83
詳細設定メニュー .....	85
システムメニュー.....	89
インフォメーションメニュー .....	92

<b>付録</b> .....	<b>93</b>
仕様.....	93
タイミングチャート.....	95
トラブルシューティング.....	98
LED インジケータ.....	99
メンテナンス.....	100
全般的な注意.....	100
レンズのお手入れ.....	100
プロジェクターの保管.....	100
おことわり.....	100
<b>規制および補修情報</b> .....	<b>101</b>
コンプライアンス情報.....	101
FCC 準拠宣言.....	101
ヨーロッパ諸国における CE 準拠.....	103
RoHS2 準拠宣言.....	104
インドの有害物質に関する制限.....	105
著作権情報.....	106
カスタマーサービス.....	107
限定保証.....	108



# はじめに

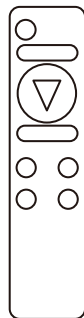
## 梱包内容



P1000



リモコンの電池



リモコン



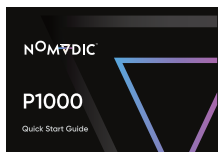
電源コード



電源アダプター



USB-C ケーブル



クイックスタートガイド

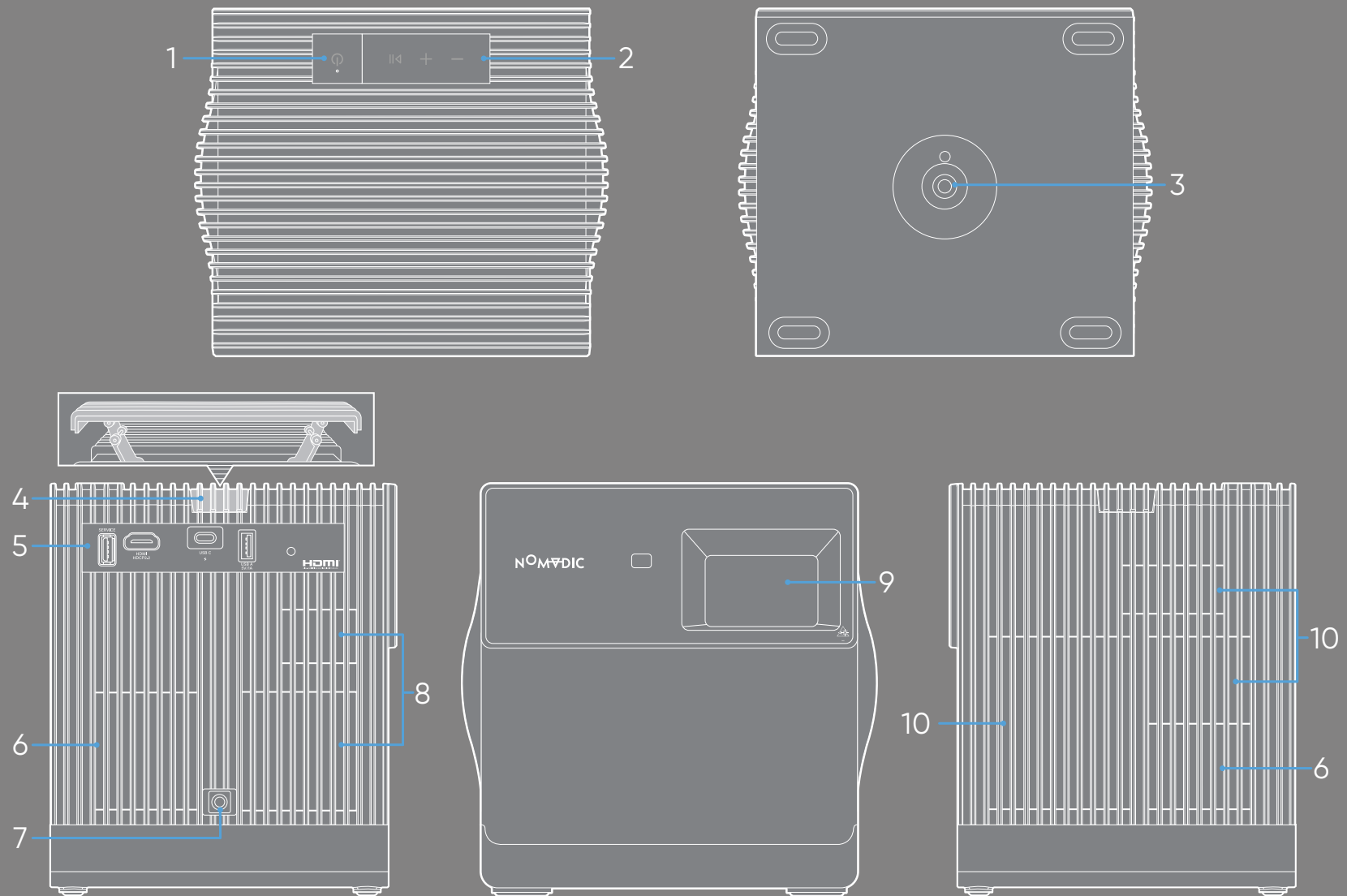


保証書

**注：**同梱されているアクセサリは、国により内容が異なる場合があります。詳しくは、カスタマーサービスにお問合せください。

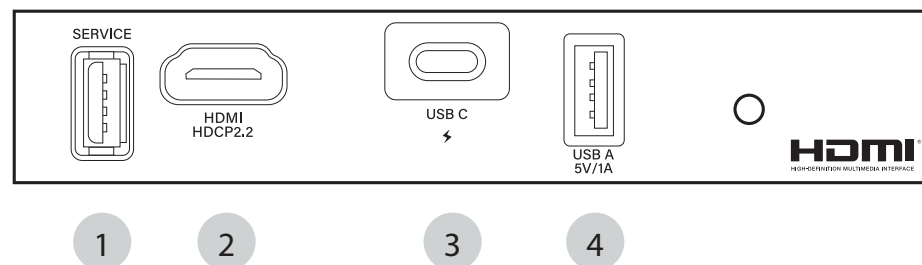
# 概要

## プロジェクター



アイテム		説明
1	電源	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
2	再生 / 一時停止	マルチメディアファイルを再生 / 一時停止します。 <b>注：</b> Bluetooth スピーカーモードではコンテンツ操作はできません（スマートフォンなど）。
	ボリュームボタン	プロジェクターの音量を上げ / 下げます。
3	三脚用穴	適切なネジでプロジェクターを取り付けてください。詳細は、18 ページの「プロジェクターの取り付け」を参照してください。
4	ハンドル	プロジェクターを持ち運ぶときのハンドルです。
5	コネクタパネル	外部デバイスを接続します。
6	スピーカーグリル	スピーカーグリル
7	DC IN ジャック	詳細は、19 ページの「接続」を参照してください。
8	通気	熱風排気
9	投写レンズ	投写レンズ
10	通気	冷気吸気

## 接続ポート

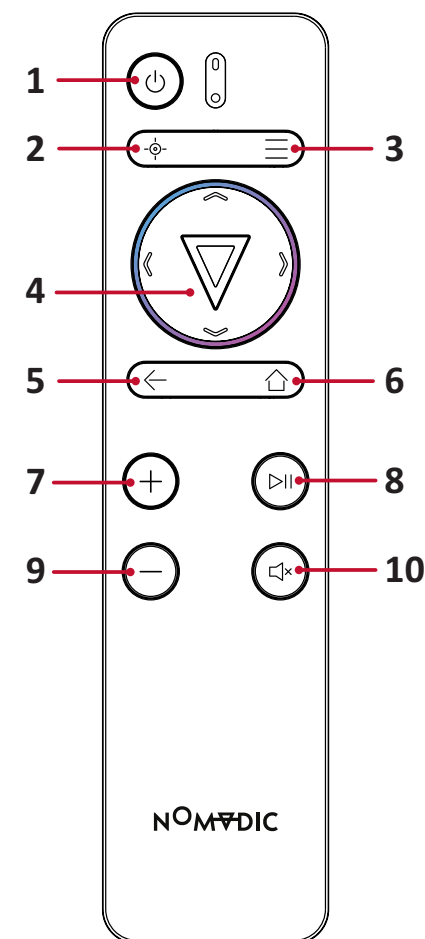


ポート		説明
1	USB Type A	ファームウェアのアップグレード用の補修ポートです 5V / 1A 電源
2	HDMI	HDMI 入力ポート 2.0b (HDCP 2.2)
3	USB Type C 入力	USB Type C 入力ポート 5V / 1A 電源 <sup>1</sup>
4	USB Type A	メディアリーダー - FAT32 / NTFS 5V / 1A 電源 <sup>1</sup>

<sup>1</sup> IMAGE (画像) > カラーモードメニューで輝度が選択されているときには使用できません。

## リモコン

ボタン		説明
1	電源	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
2	フォーカス	画像のフォーカスを自動調整します。 <b>注：</b> 画像のフォーカスを微調整するには、ボタンを長押しするとテストパターンが表示されますので、左《 / 右》を押します。
3	OSDメニュー	OSDメニューをオン / オフにします。または、前のOSDメニューに戻ります。
4	OK / 上 / 下 / 左 / 右	選択を確定します。 メニューアイテムを選択し、調整を行います。
5	戻る	前のメニューかメインメニューに戻るか、アプリを終了します。
6	ホーム	スマートシステムのホームページが開きます。
7	上げる	プロジェクターの音量を上げます。
8	再生 / 一時停止	マルチメディアファイルを再生 / 一時停止します。 <b>注：</b> 内蔵のメディアプレーヤーのみ対応します。
9	下げる	プロジェクターの音量を下げます。
10	ミュート	プロジェクターの音量をミュート / ミュート解除にします。



**注：**プロジェクターは、NOMVDIC リモコンアプリでも操作できます。詳細は、29 ページをご覧ください。

## リモコンの有効範囲

リモコンを確実に操作するためには、次の手順に従ってください。

1. リモコンは本機の IR リモコン センサーに対して垂直に 30° 以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。
2. リモコンとセンサーの距離は、8 メートル（26 フィート）以内でなければなりません。

## リモコン - 電池の挿入

1. リモコンの底面にある窪みを押して電池カバーをスライドさせると電池カバーが外れます。
2. 古い電池を取り出して（該当する場合）、2 個の AAA（単 4）電池を挿入します。
3. 電池コンパートメントに記載されている電池の極性に注意してください。
4. 再びカバーを元に戻してください。

### 注：

- 熱すぎたり、寒すぎたり、あるいは湿度の高い環境の中に長期間リモコンと電池を放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、リモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。
- 気圧が低すぎると、電池の可燃性の液体やガスが爆発したり、漏れたりする場合があります。
- 電池を使用しているとき、保管中、輸送中、または高地で気圧が低くなっているときに、温度が高すぎたり、低すぎたりすると、可燃性の液体やガスが爆発したり、漏れたりする場合があります。
- また、使用済みの電池は各自治体の回収規則にしたがって廃棄してください。
- 電池を火の中や熱いオーブンの中に投げ込んだり、破壊したり、切断したりすると、爆発する危険性があります。

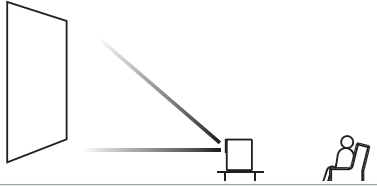
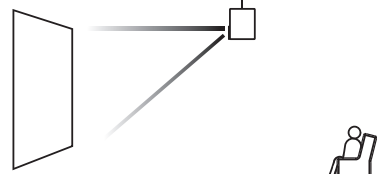
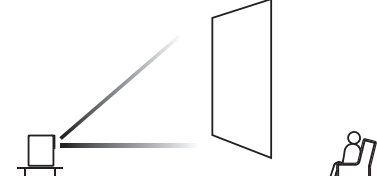
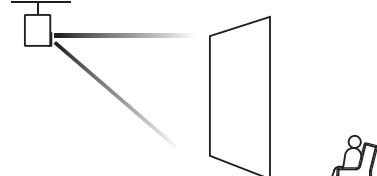
# 初期設定

## 位置の選択 - 投写方向

お好みや部屋のレイアウトに応じて設置場所を決めてください。次の点に配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- コンセントの位置。
- 本機とその他の機器の位置と距離。

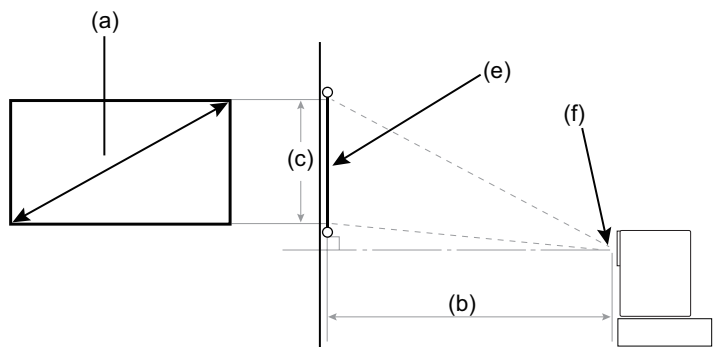
本機は次のような設置状態で使うことができます。

設置場所	
<b>フロント投映</b> スクリーンの正面に床に近い位置に設置します。	
<b>天吊正面</b> スクリーンの正面に天井から上下逆さに吊り下げて設置します。	
<b>リア投映<sup>1</sup></b> スクリーンの背面から床に近い位置に設置します。	
<b>天吊背面<sup>1</sup></b> スクリーンの背面に天井から上下逆さに吊り下げて設置します。	

<sup>1</sup>背面投写スクリーンが必要です。

# 投写サイズ

- 16:9 スクリーンの 16:9 画像

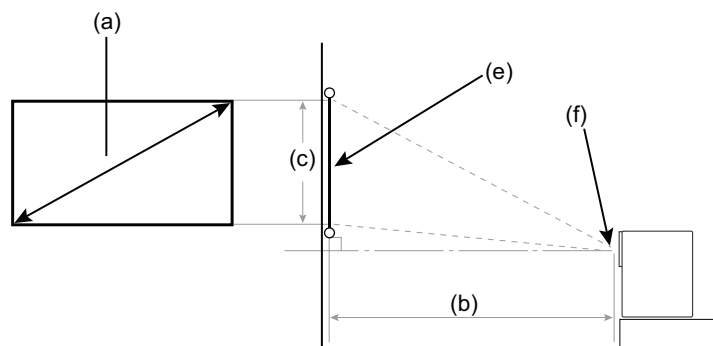


注：(e) = スクリーン  
(f) = レンズの中心

(a) 画面サイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	35.8	909	43.0	1091	29.4	747	0.7	19
70	1778	41.8	1061	50.1	1273	34.3	872	0.9	22
80	2032	47.7	1213	57.3	1455	39.2	996	1.0	25
90	2286	53.7	1364	64.5	1637	44.1	1121	1.1	28
100	2540	59.7	1516	71.6	1819	49.0	1245	1.2	31
120	3048	71.6	1819	85.9	2183	58.8	1494	1.5	37
150	3810	89.5	2274	107.4	2728	73.5	1868	1.8	47
180	4572	107.4	2728	128.9	3274	88.2	2241	2.2	56



• 16:9 スクリーンの 4:3 画像



注：(e) = スクリーン  
(f) = レンズの中心

(a) 画面サイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	32.9	835	39.4	1002	27	686	0.7	17
70	1778	38.3	974	46.0	1169	32	800	0.8	20
80	2032	43.8	1113	52.6	1336	36	914	0.9	23
90	2286	49.3	1252	59.2	1503	41	1029	1.0	26
100	2540	54.8	1391	65.7	1670	45	1143	1.1	29
120	3048	65.7	1670	78.9	2003	54	1372	1.4	34
150	3810	82.2	2087	98.6	2504	68	1715	1.7	43
180	4572	98.6	2504	118.3	3005	81	2057	2.0	51

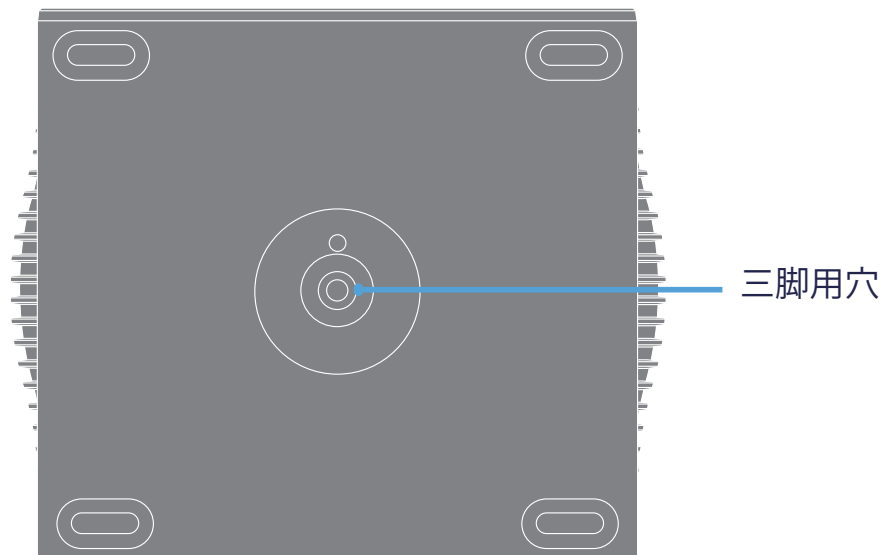
注：

- プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお勧めします。
- 画像のフォーカスを微調整するには、リモコンまたはプロジェクターの OSD メニューを使用します。

## プロジェクターの取り付け

**注：** サードパーティの取り付けキットをご使用になる場合は、正しいサイズのネジをお使いください。ネジサイズは取り付けプレートの厚さによって決まります。

1. 最も安全に設置するためには、正規の壁または天井取り付けキットをお使いください。
2. 本機を取り付けるためのネジは、次の仕様を満たしている必要があります。
  - ネジタイプ：1/4UNC
  - ネジの最大長：8 mm



**注：**

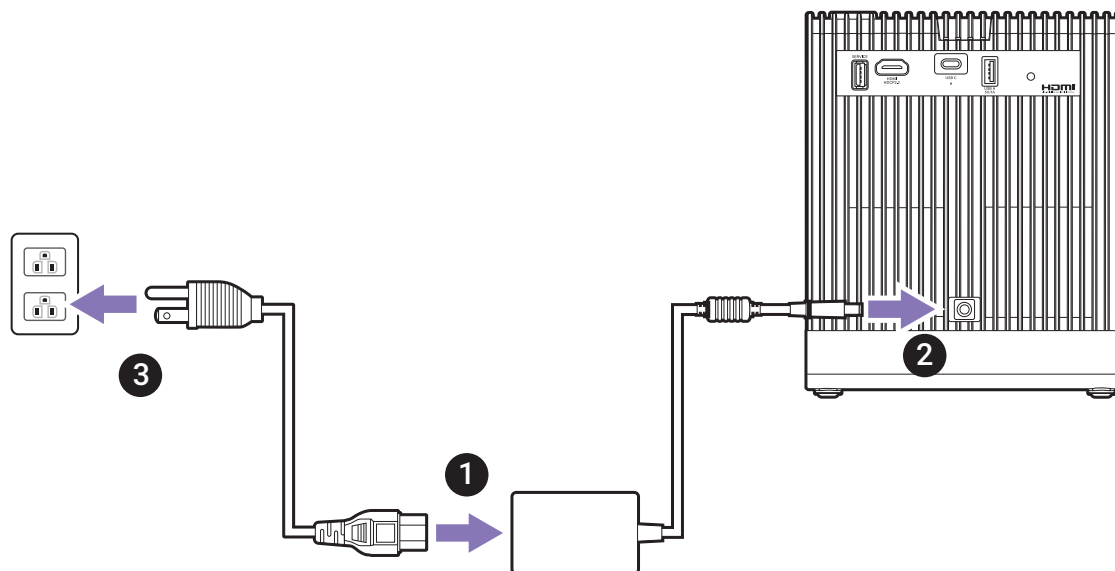
- 本機を熱源の近くに設置しないでください。
- 壁 / 天井とプロジェクターの底の間には 10 cm 程度の間隙を確保してください。

# 接続

## 電源に繋ぐ

### DC 電源(コンセント)

1. 電源アダプタに電源コードを接続します。
2. 本機の背面にある DC IN ジャックに電源アダプタを接続します。
3. コンセントに電源コードのプラグを接続します。



**注：** 本体を取り付ける際は、プラグが外してあるデバイスを固定配線に接続するか、または本体の近くにあり容易に手の届く場所にあるコンセントに接続してください。本体操作時にエラーが発生した場合は、コンセントから抜いたデバイス进行操作して電源をオフにするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### 注意：

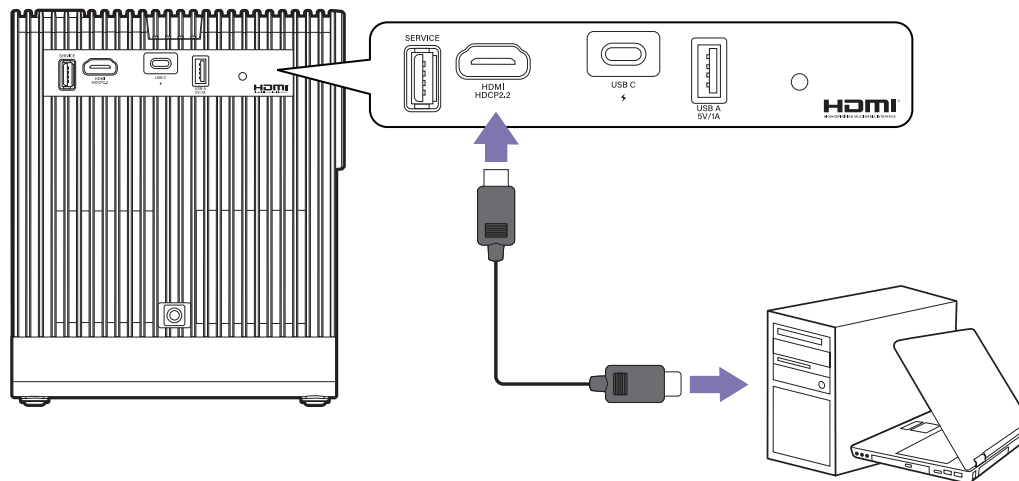
- ・ バッテリーを充電したり、プロジェクターに電力供給する場合は、バンドルされているアダプタをご使用ください。

- 初めてプロジェクターの電源を入れるときには、プロジェクターが電源アダプタに接続されていることを確認してください。電源アダプタを接続してプロジェクターをご使用になる場合は、接地されたソケットをお使いになることを強くお勧めします。
- 電源コンセントには簡単に手が届き、プロジェクターの近くにあることが望ましいです。
- プロジェクターを主電源から外すには、プロジェクターをコンセントから抜いてください。

# 外部デバイスの接続

## HDMI 接続

HDMI ケーブルをビデオ機器の HDMI ポートに接続します。ケーブルのもう片端を本機の **HDMI** ポート（HDMI 2.0b、HDCP 2.2 に対応します）に接続します。

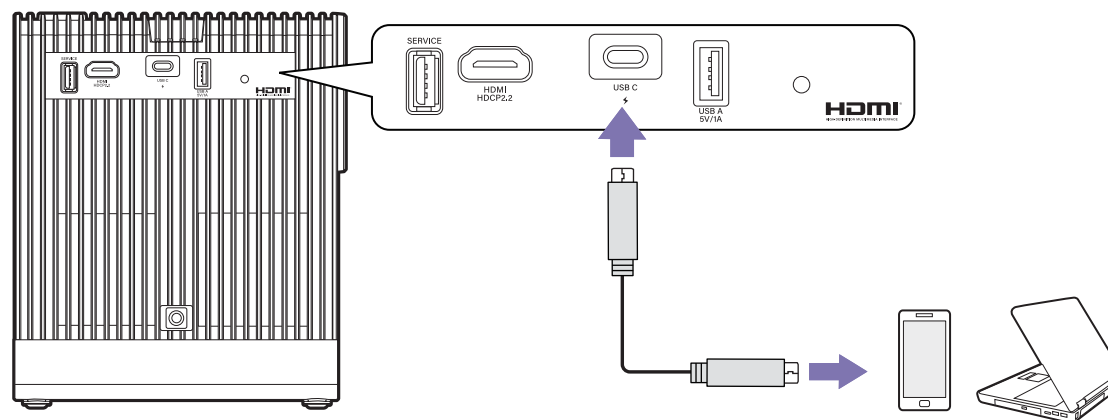


**注：** iPhone / iPad をお使いになる場合は、追加アダプタをご使用ください。

## USB C 接続

### USB C 接続

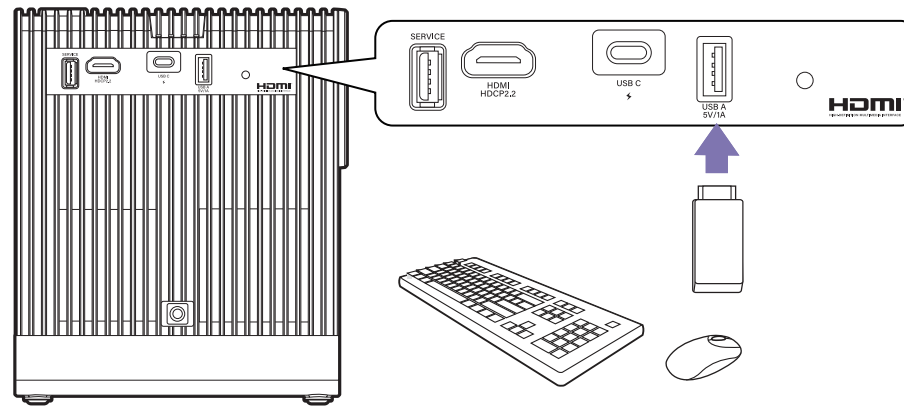
USB Type-C ケーブルをデバイスの USB Type-C ポートに接続します。ケーブルのもう片端を本体の **USB C** ポートに接続します。



**注：**お使いの USB Type-C 機器が映像転送に対応していることを確認してください。

## USB Type A 接続

キーボード、マウス、ハードウェアキー、ストレージデバイスなどを、プロジェクターの **USB A** ポートに接続できます。



# 無線の画面ミラーリング

画面ミラーリングを選択すると、スクリーンを個人デバイスにミラー化できるように 5GHz Wi-Fi 接続を行います。



## iOS の場合：

1. ドロップダウン コントロールメニューを開きます。
2. 「画面ミラーリング」アイコンを選択します。
3. 「NOMVDIC XXXX」を選択します。

## Android の場合：

1. 「Google Home」アプリケーションをダウンロードしてインストールします。
2. アプリを引っ張って更新して 30 秒待ちます。
3. 「NOMVDIC XXXX」が選択できるようになります。

## 注：

- デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認します。
- 最高の結果を引き出すために、5GHz Wi-Fi ネットワークをご使用になることをお勧めします。
- 一部の Android デバイスはダイレクト「キャスト」に対応しているものもあります。お使いのデバイスが対応している場合は、キャスト機能を選択し、リストから「NOMVDIC」を選択します。Google Home アプリケーションがインストールされていない場合は、QR コードをスキャンして手順に従うことで、Android デバイスをキャストすることができます。



# オーディオ接続

## Bluetooth スピーカー

本機には、デバイスが無線で接続してオーディオを再生できる Bluetooth が搭載されています。

デバイスを接続してペアリングする：



1. 次の順番で選択します。ホーム > Bluetooth。
2. リモコンの 上  $\wedge$  / 下  $\vee$  を使って、Bluetooth スピーカーまたは Bluetooth ペアリングを選択します。次に、OK  $\nabla$  を押しします。



3. ペアリングモードに入ると、音が聞こえます。
4. 接続が完了すると、別の音が聞こえます。

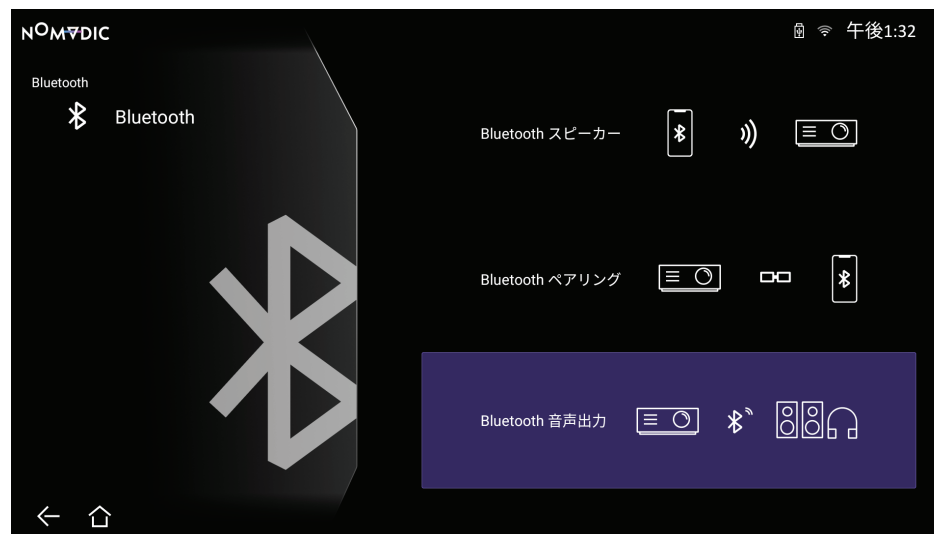
### 注：

- ペアリングが完了し、プロジェクターとデバイスが共にオンになると、それらは自動的に Bluetooth を介して接続されます。
- 本機の名前は「NOMVDIC PJ」と表示されます。
- P1000 とペアリングしたスマート機器を接続するには、スマート機器の Bluetooth 設定から「P1000」を選択して毎回接続し直してください。





- ・ プロジェクターとデバイスが共にオンになると、それらは自動的に Bluetooth スピーカーモードで Bluetooth を介して接続されます。一旦接続されると、**電源** 、**戻る**  ボタンを使用しなければ Bluetooth モードを終了することはできなくなりますのでご注意ください。

## Bluetooth 音声出力

プロジェクターを Bluetooth 対応の外付けヘッドフォンやスピーカーに接続します。



デバイスを接続してペアリングする：

1. 次の順番で選択します。ホーム > Bluetooth。
2. リモコンの **上**  / **下**  を押して、**Bluetooth 音声出力** オプションを選択します。次に、**OK**  を押します。
3. プロジェクターが近くの Bluetooth デバイスの検索を開始します。リストからお使いの機器を選択し、リモコンの **OK**  を押します。

### 注：

- ・ **Bluetooth 音声出力**は、**Bluetooth スピーカー**と **Bluetooth ペアリング**と同時に使用することができます。
- ・ Bluetooth 音声出力機能は、入力源がスマートシステムのときにのみ有効です。HDMI / USB C ソースではご使用いただけません。
- ・ 入力源が HDMI / USB C の場合は、同時に 2 本のサウンドが聞こえないように、接続した Bluetooth 機器をオフにしてください。


# ネットワークへの接続

## Wi-Fi 接続

Wi-Fi ネットワークを接続する：

1. 次の順番で選択します。ホーム > 設定 > ネットワーク設定 > Wi-Fi。
2. リモコンの **左**《 / **右**》を押して、**有効**を選択します。



3. すると、使用可能な Wi-Fi ネットワークが表示されます。使用可能な Wi-Fi ネットワークを1つ選択し、リモコンの **OK**  を押します。
4. 安全な Wi-Fi ネットワークに接続したら、パスワードを求められた場合には入力してください。

## カスタム SSID

Wi-Fi ネットワークを手動で接続する：

1. 次の順番で選択します。**ホーム > 設定 > ネットワーク設定 > Wi-Fi。**
2. リモコンの **左《 / 右》**を押して、**有効**を選択します。
3. 有効な Wi-Fi ネットワークリストから**その他**を選択して、リモコンの **OK ▽** を押します。
4. SSID を入力してセキュリティレベルを選択します。
5. 求められたときにはパスワードを入力します。

**注：** IP 設定を自動に設定して、システム構成にネットワーク設定を自動的に続行させることをお勧めします。



## NOMVDIC リモコンアプリ

プロジェクターに付属するリモコンの他に、スマートフォンに NOMVDIC リモコンアプリをダウンロードしてリモコンとして使用することもできます。

### iOS の場合：


1. App Store を開きます。
2. 「NOMVDIC Remote Control」アプリを探してインストールします。
3. アプリをインストールします。
4. スマートフォンと P1000 を同じ Wi-Fi ネットワークに接続します。

### Android の場合：

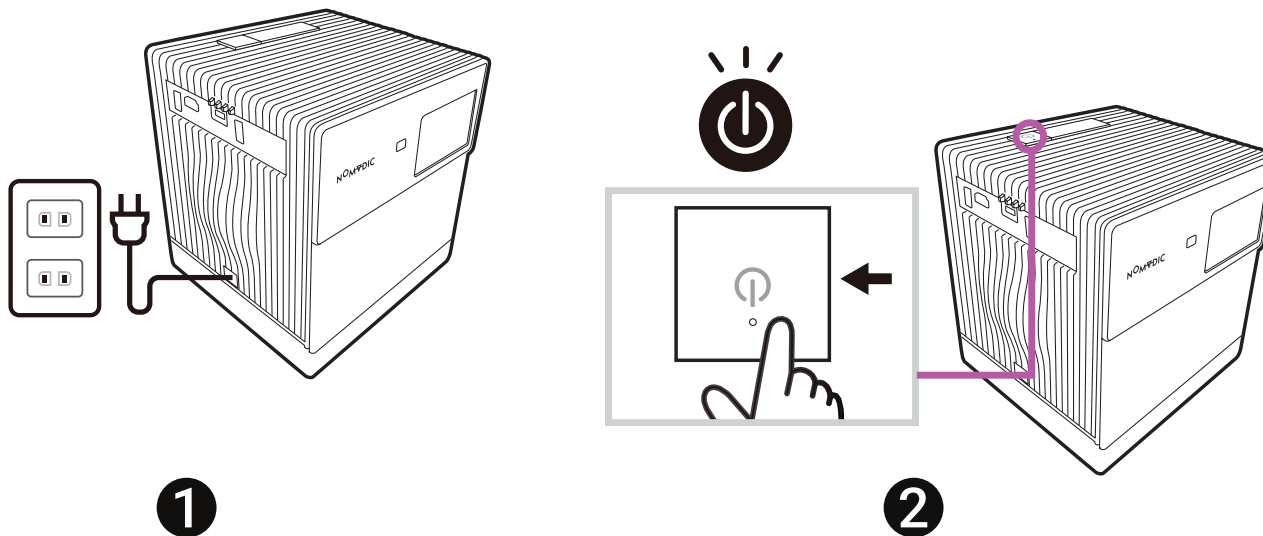
1. Google Play ストアを開きます。
2. 「NOMVDIC Remote Control」アプリを探してインストールします。
3. アプリをインストールします。
4. スマートフォンと P1000 を同じ Wi-Fi ネットワークに接続します。

# プロジェクターを使う

## プロジェクターの起動

1. プロジェクターの電源コードを適切にコンセントに接続してください。詳細は、19 ページの「電源に繋ぐ」を参照してください。
2. 本機の電源を入れるには、**電源**  を押します。

**注：**起動処理中は状態 LED が緑色に点滅し、起動処理が完了すると緑色に点灯します。

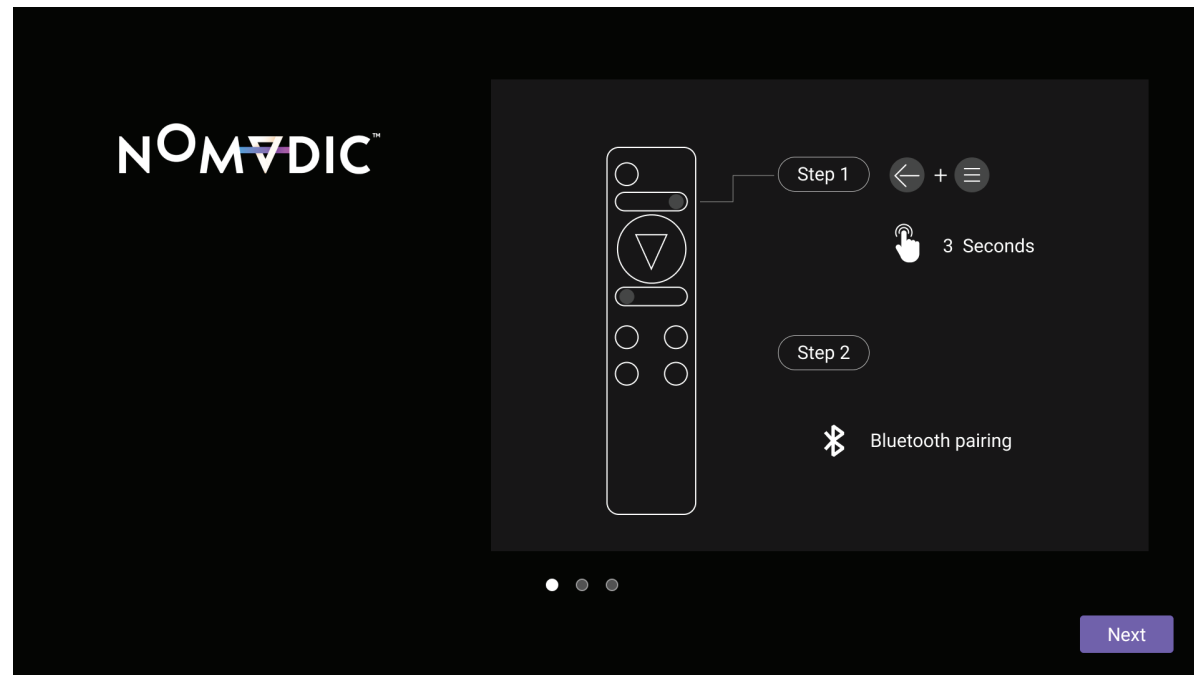


## 初回アクティベーション

初めてプロジェクターを有効化するときには、次の設定を行う必要があります。Bluetooth ペアリング、言語、ネットワーク設定。リモコンを使って、画面の指示に従ってください。「終了画面」が表示されると、プロジェクターを使用できるようになります。

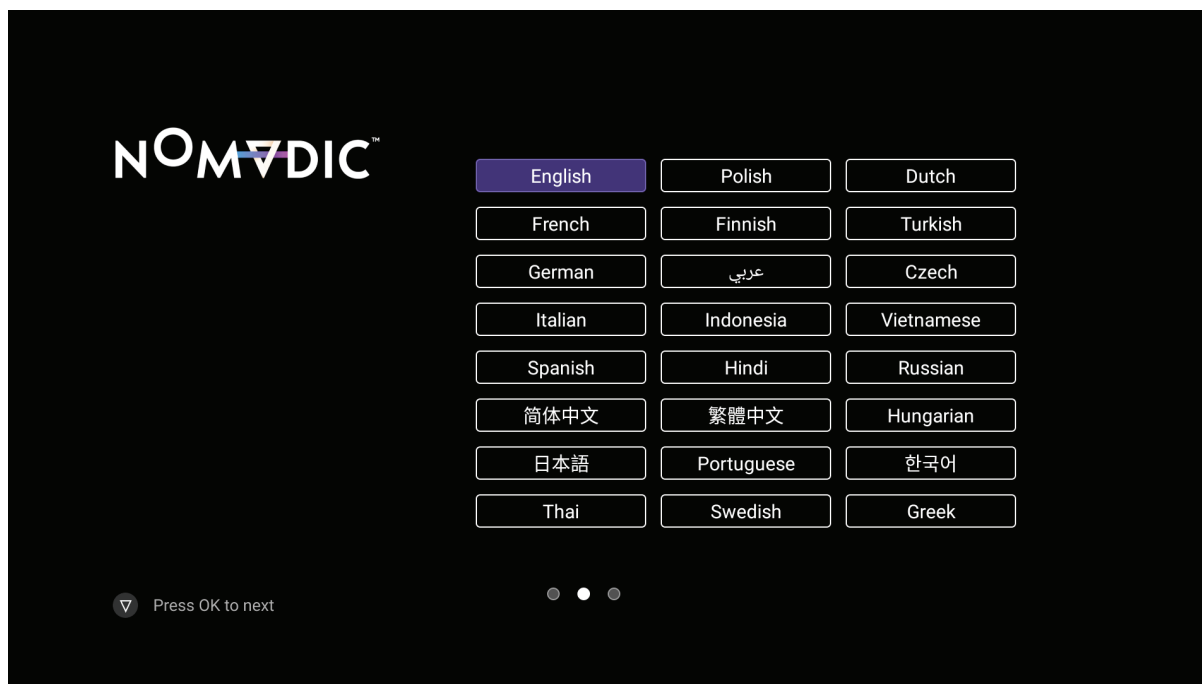
### Bluetooth ペアリング

Bluetooth をリモートでペアリングします。



## 言語

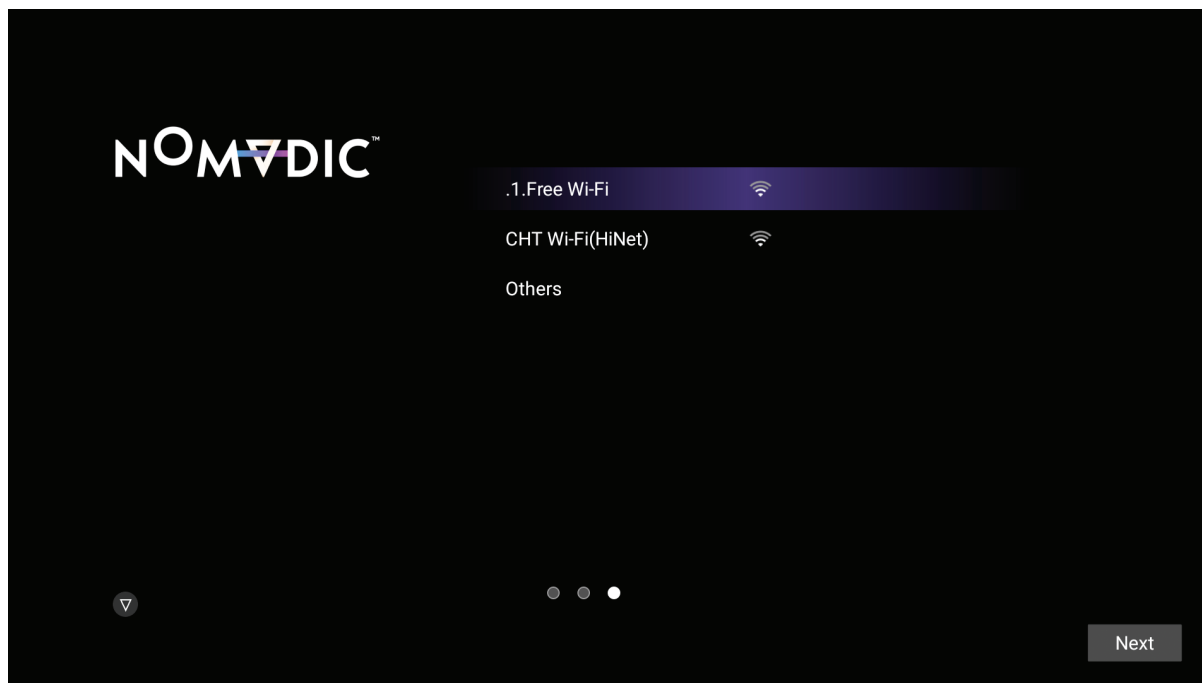
言語を選択し、リモコンのOK  を押して選択内容を確定します。





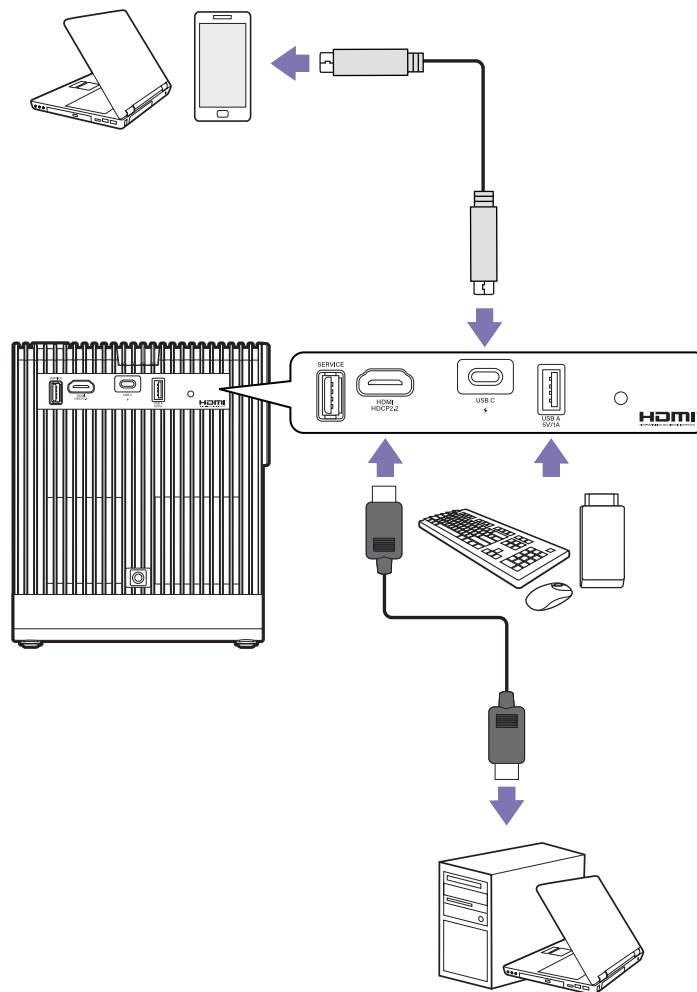
## ネットワーク設定




使用可能な Wi-Fi ネットワークを選択します。詳細については、27 ページを参照してください。



## 入力源の選択

本機には同時に複数の装置を接続することができます。ただし一度に表示できる装置は1台です。



プロジェクターは入力信号を自動的に検索します。複数の入力源が接続されている場合は、リモコンの **上**  / **下**  を使って入力源タブを選択し、**OK**  を押します。


**注：**



- 接続した入力源も電源がオンになります。
- 選択した入力源が検出されない場合は、「信号なし」というメッセージが表示されます。



# 投写画像の調整









## 画質の明瞭さの微調整

画像を目的とするサイズに調整するには、**OSDメニュー**  を押して OSD メニューを開き、**表示 > 電動ズームメニュー** を選択します。**左《 / 右》** を押して画像を縮小または拡大します。

画像の鮮明さを向上させるには、リモコンの**フォーカス**  を押します。画像の鮮明さを手動で微調整する必要があるときには、リモコンの**フォーカス**  を3秒間押してテストパターンを表示した後で、**左《 / 右》** を押すと鮮明さを調整することができます。
























## 台形補正

台形補正とは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまいう状態のことです。次の手順に従って、不具合を修正してください。

- 投写角度 / 高さを調整します。
- 設置場所の関係上、これを調整できない場合は、OSDメニューから**自動台形補正**機能をお使いください。
  1. **OSDメニュー**  を押して OSD メニューを開きます。
  2. **表示 > 台形補正 > 自動台形補正**メニューを選択した後、**オン**を選択します。。
- **自動台形補正**調整を行った後、画像を手動で補正する必要があるときには、次の手順に従ってください。
  1. **OSDメニュー**  を押して OSD メニューを開きます。
  2. **表示 > 台形補正 > 手動**メニューを開き、**OK**  を押します。
  3. **上  / 下 ** を押して**垂直**、**水平**、**回転**のいずれかを選択します。  
**垂直**をハイライトして**左《 / 右》** を押し、垂直方向の台形補正を行います。  
**水平**をハイライトして**左《 / 右》** を押し、水平方向の台形補正を行います。  
**回転**をハイライトして**左《 / 右》** を押して、投写画像を右回り / 左回りに回転させます。
  4. 値をリセットするには、**OSDメニュー**  を押して前のメニューに戻り、**自動台形補正**をハイライトします。次に、**左《 / 右》** を押して**オン**を選択します。
  5. 完了したら、**戻る**  または **OSDメニュー**  を押して終了します。

## 四隅の調整



すべての辺が均等でない画像の形状とサイズを手動で調整することができます。

1. **OSD メニュー**  を押して OSD メニューを開きます。
2. **表示** > **四隅の調整** メニューを開き、**OK**  を押します。すると**四隅の調整** ページが表示されます。
3. **上**  / **下**  / **左**  / **右**  を使って調整したい角を選択し、**OK**  を押します。
4. **左**  / **右**  を押して用途に応じた調整方法を選択し、**OK**  を押します。
5. 画面に表示されるとおり (45 度 **上**  / **下** 、90 度の角度調整は **上**  / **下**  / **左**  / **右** )、**上**  / **下**  / **左**  / **右**  を押して形状とサイズを調整します。**戻る**  または **OSD メニュー**  を押すと、前のステップに戻ります。**OK**  を 2 秒間長押しすると、選択したい角の設定がリセットされます。

### 注：

- ・ 台形補正を行うと、**四隅の調整** 設定がリセットされます。
- ・ **四隅の調整** 設定を調整した後は、アスペクト比またはタイミングが使用できなくなる場合があります。その場合は、四隅全部の設定をリセットしてください。

## プロジェクターをシャットダウンする

1. **電源**  を押すと確認メッセージが表示され、**電源**  を再度押すよう要求されます。また、他のボタンをどれでも押すと操作がキャンセルされます。

**注：**最初に押してから数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。

2. 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。

**注：**

- ・ 光源を保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。
- ・ 本機のシャットダウンが完了するまでは、電源コードを抜かないでください。

# メニューの操作

## Android システムを使う - ホーム画面

ホーム画面はプロジェクターを起動する度に表示されます。ホーム画面をナビゲートするには、リモコンの矢印ボタンを使います。ホーム画面には、リモコンのホーム ㇿ を押すと、どのページを表示していてもいつでも戻ることができます。



メニュー	説明
ファイル管理	ファイルとフォルダを管理するためのユーザーインターフェイスです。
アプリセンター	インストールしたすべてのアプリケーションにアクセスしたり、表示したりすることができます。
設定	次のような各種カテゴリーを管理できます。ネットワーク設定、日時、基本設定、詳細設定、ファームウェア アップグレード、インフォメーション。
画面ミラーリング	パーソナル機器の画面をプロジェクターを介してミラー化します。
Bluetooth	適切な Bluetooth モードを選択します。
アプリ追加	好きなアプリを選択して、それらを <b>ホーム画面</b> に追加します。



## ホーム画面 - オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー構造

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
ファイル管理			
アプリセンター			
設定	ネットワーク設定	Wi-Fi	有効 / 無効
			SSID
			IP 設定
			IP アドレス
			サブネットマスク
			デフォルトゲートウェイ
			DNS サーバー
	日時	日付と時刻の自動設定	有効 / 無効
			日付
			時刻
			タイムゾーン
			時刻形式
		12 時間	
		24 時間	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
設定	基本設定	言語選択	English	Türkçe
			Français	Čeština
			Deutsch	Português
			Italiano	ไทย
			Español	Polski
			Русский	Suomi
			繁體中文	العربية
			簡體中文	Bahasa Indonesia
			日本語	हिंदी
			韓語	Tiếng Việt
		Svenska	Ελληνικά	
		Nederlands	Magyar	
詳細設定		設定をリセット		
		工場出荷時デフォルトにリセットする		
ファームウェアアップグレード		オンラインでのソフトウェア更新		
		USB によるソフトウェア更新		
		OTA リマインダー	有効 / 無効	
		ファームウェアバージョン		


メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
設定	インフォメーション	ファームウェアバージョン	
		メモリ情報	xx GB (空き) / xx GB (合計)
		Wi-Fi Mac アドレス	
画面ミラーリング			
Bluetooth			
アプリ追加			

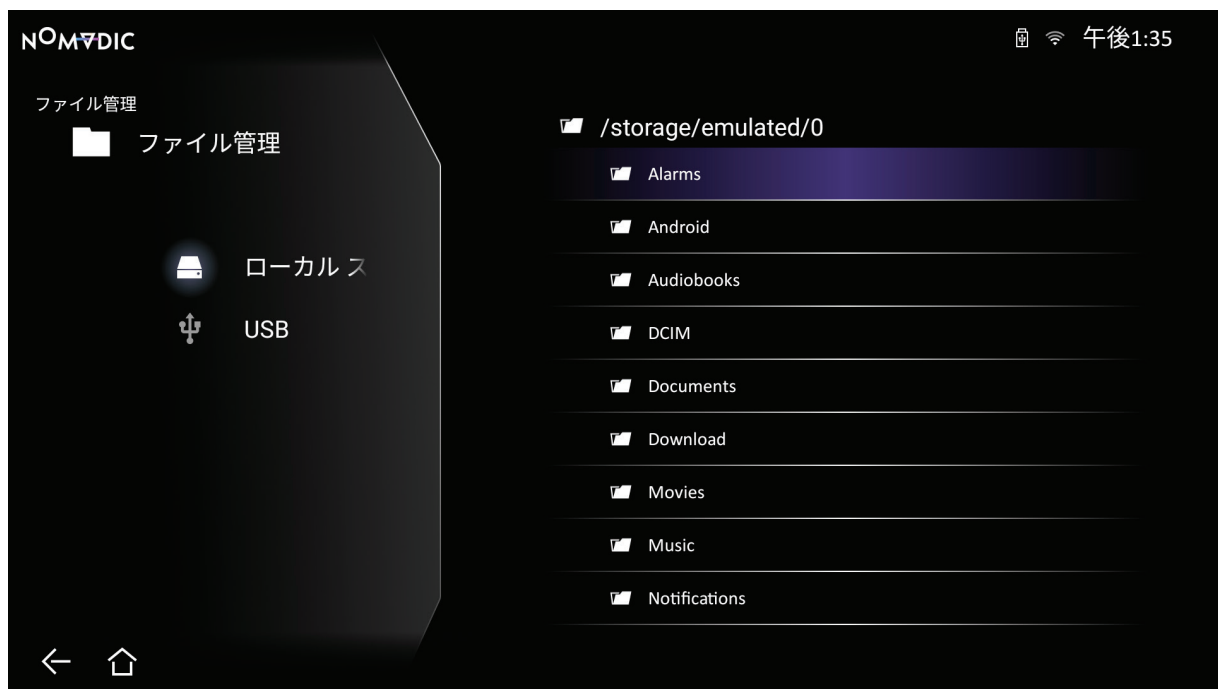
## ファイル管理

ファイルとフォルダを簡単に管理できます。

1. 次の順番で選択します。ホーム > ファイル管理。





2. ソースリストからデバイスを選択します。USB、ローカルストレージなど。矢印ボタンを使ってファイルを選択します。次に、リモコンのOK  を押すと選択したファイルが開きます。

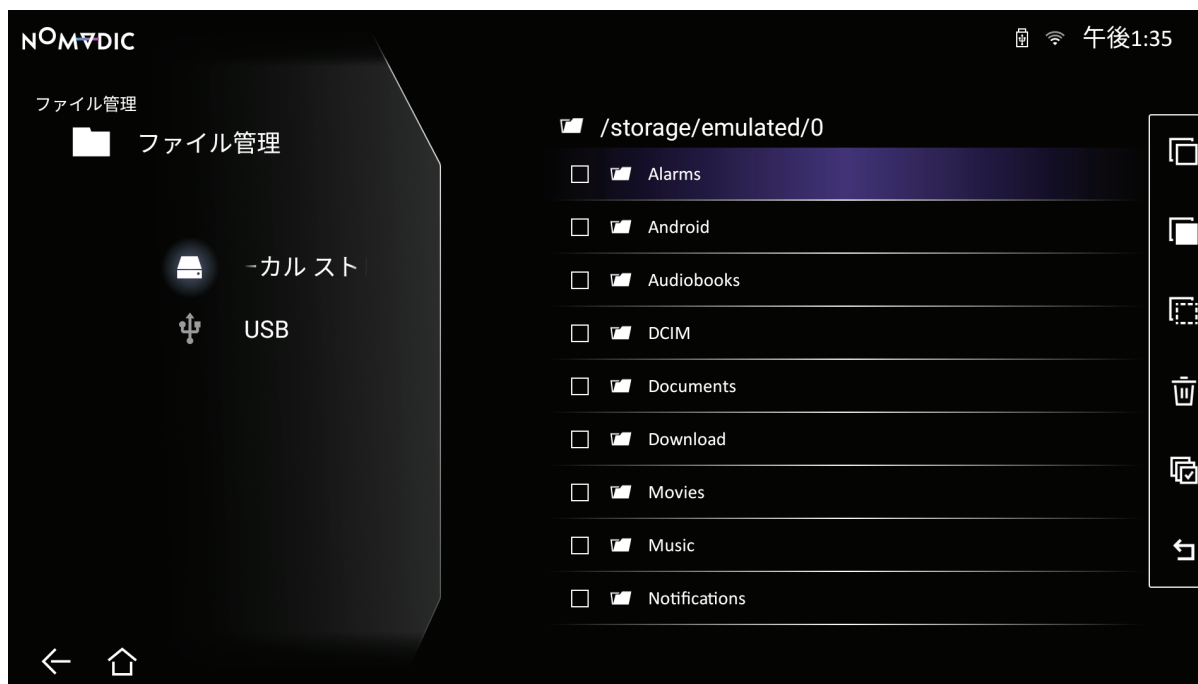



3. **戻る** ← を押して、前のレベルに戻ります。

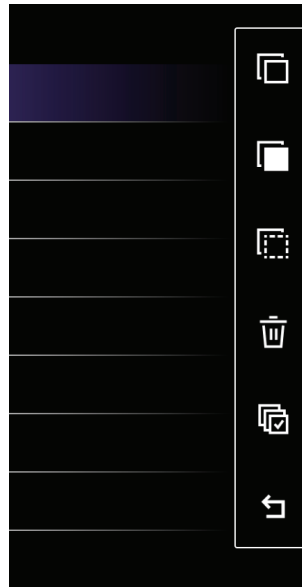
**注：**リモコンの**ホーム** 𠃍 を押すと、**ホーム画面**に戻ることができます。


## ファイルの編集方法

1. **ファイル管理**画面でリモコンの **OK**  ボタンを3秒間押します。
2. それぞれのファイルの左側にチェックボックスが表示されます。矢印ボタンを使って **OK**  を押すと、ファイルを選択できます（複数選択可）。









3. **右**  を押すと、コピー、貼り付け、切り取り、削除、すべて選択、戻るボックスが使用できるようになります。





4. 操作を選択し、OK  を押して実行します。
5. ファイルを切り取ったり、コピーしたりする場合は、目的のフォルダを選択して処理を完了してください。

## コントロールバーのボタンの使い方

ビデオ、音楽、画像ファイルを開こうとすると、コントロールバーのボタンが画面に表示されます。

オーディオ		ピクチャ		ビデオ	
	巻き戻し		前へ		前へ
	前へ		再生		巻き戻し
	再生		一時停止		再生
	一時停止		次へ		一時停止
	次へ		回転 (左)		早送り
	早送り		回転 (右)		次へ
	シャッフル		インフォメーション		シャッフル
	くり返し再生 (すべて)		ズームイン		くり返し再生 (すべて)
	1回リピート		ズームアウト		1回リピート
	プレイリスト				プレイリスト
	インフォメーション				インフォメーション
	リニア再生				リニア再生



					再生設定
					ブロードキャスト 時間

## USB を使用する上でのヒント

USB を使って読み込んだり、保存したりする場合は、次のことにご注意ください。

1. USB ストレージデバイスによっては互換性がない場合があります。
2. USB 延長ケーブルをご使用になると、USB デバイスが認識されない場合があります。
3. Windows FAT32 または NTFS ファイルシステムにフォーマットされた USB ストレージデバイスのみをご使用ください。
4. 大きいファイルは読み込みに時間がかかる場合があります。
5. USB ストレージデバイスに保管したデータが破損したり、失われたりしている場合があります。重要なファイルはバックアップを取ってください。

## 対応ファイル形式

対応 Office 形式：

	アイテム	説明
文書表示機能	doc/docx	doc/docx 文書を開くことができます。
	xls/xlsx	xls/xlsx 文書を開くことができます。
	ppt/pptx	ppt/pptx 文書を開くことができます。
	PDF	PDF 文書を開くことができます。

	アイテム	説明
対応するインターフェイスの言語	対応するインターフェイスの言語 (44 か国語)	英語、簡体字中国語、中国語 (TW)、中国語 (HK)、スペイン語 (LA)、フランス語 (EU)、ポルトガル語 (EU)、ポルトガル語 (BR)、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スウェーデン語、スペイン語 (EU)、韓国語、アラビア語、ペルシア語、セルビア語、ボスニア語、マケドニア語、ブルガリア語、ウクライナ語、ギリシャ語、ノルウェー語、デンマーク語、チェコ語、ハンガリー語、スロバキア語、ポーランド語、ルーマニア語、フィンランド語、エストニア語、ラトビア語、リトアニア語、イギリス英語、スロベニア語、クロアチア語、トルコ語、ベトナム語、インドネシア語、オランダ語、マレー語、タイ語、ヒンディー語、ヘブライ語、ビルマ語、カタロニア語。

対応マルチメディア形式：

拡張子	タイプ	コーデック
.avi	ビデオ	H.264、 H.265
	オーディオ	MP3
.mp4* .mov	ビデオ	H.264、 H.265/MPEG 4
.mkv	ビデオ	H.264、 H.265
.ts	ビデオ	H.264、 H.265、 MPEG2
	オーディオ	MP3
.vob	ビデオ	MPEG-1、 MPEG-2
	オーディオ	DVD-LPCM
.mpg	ビデオ	MPEG-1

注：\*ビデオデコード形式 AVC (CABAC/3 Ref Frames) のビデオ解像度 3840 x 2160 は、MP4 では対応していません。

対応画像形式：

フォーマット	タイプ	最大解像度
.jpg/.jpeg	プログレッシブ JPEG	7680 x 4320
	ベースライン JPEG	7680 x 4320
.bmp		9600 x 6400
.png		7680 x 4320

対応する外部接続デバイスの形式：

デバイス	対応サイズ (最大サイズ)	NTFS 対応		FAT32 形式		exFAT	
		読み取り	書き込み	読み取り	書き込み	読み取り	書き込み
USB メモリスティック	256 GB	√	該当なし	√	√	該当なし	該当なし
USB HDD	2 TB	√	該当なし	√	√	該当なし	該当なし

**注：**


- Windows 10 内蔵のフォーマットツールは、32 GB までの FAT32 フォーマットにしか対応しません。
- ファームウェアのアップグレードは、FAT32 フォーマットにのみ対応します。

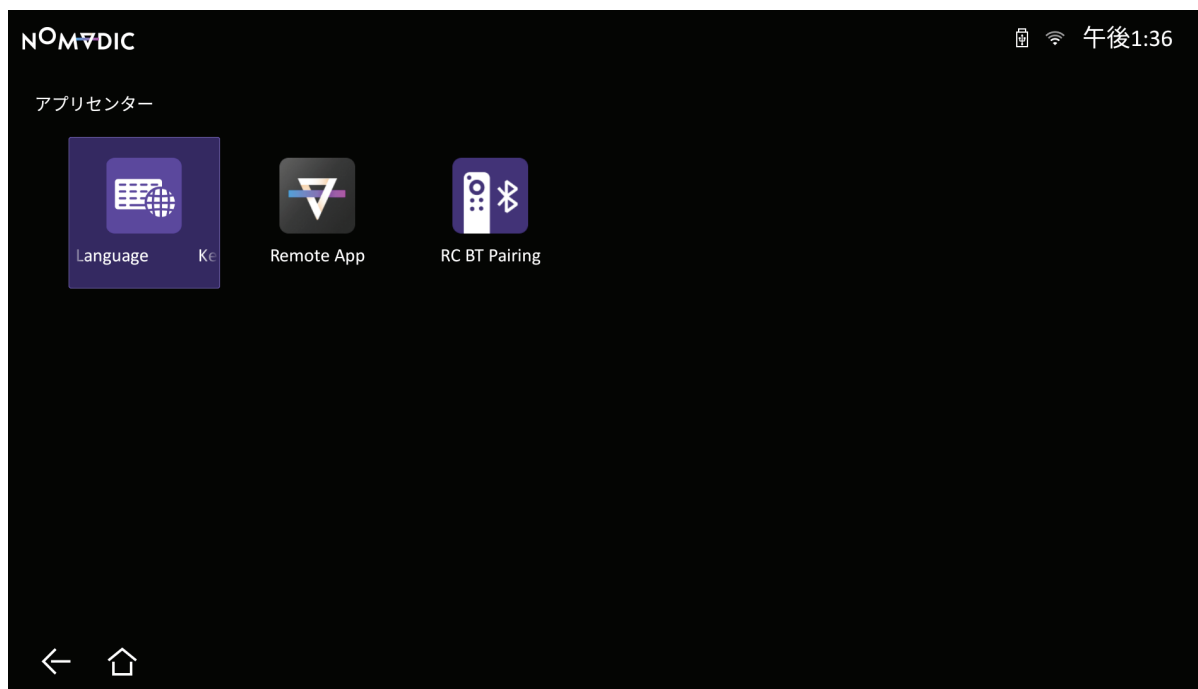
## アプリセンター

アプリを表示、起動、アンインストールします。


1. 次の順番で選択します。ホーム>アプリセンター。




2. 方向ボタンを使ってアプリを選択します。次に、リモコンのOK  を押すとアプリが起動します。




**注：**

- ・ リモコンの**ホーム**  を押すと、**ホーム画面**に戻ることができます。
- ・ ファイル管理から .apk ファイルを取得し、サードパーティのアプリをインストールできます。ただし、サードパーティのアプリの中には互換性の問題がある場合もあります。
- ・ 一部のアプリはキーボードとマウスが必要です。

### アプリをアンインストールする

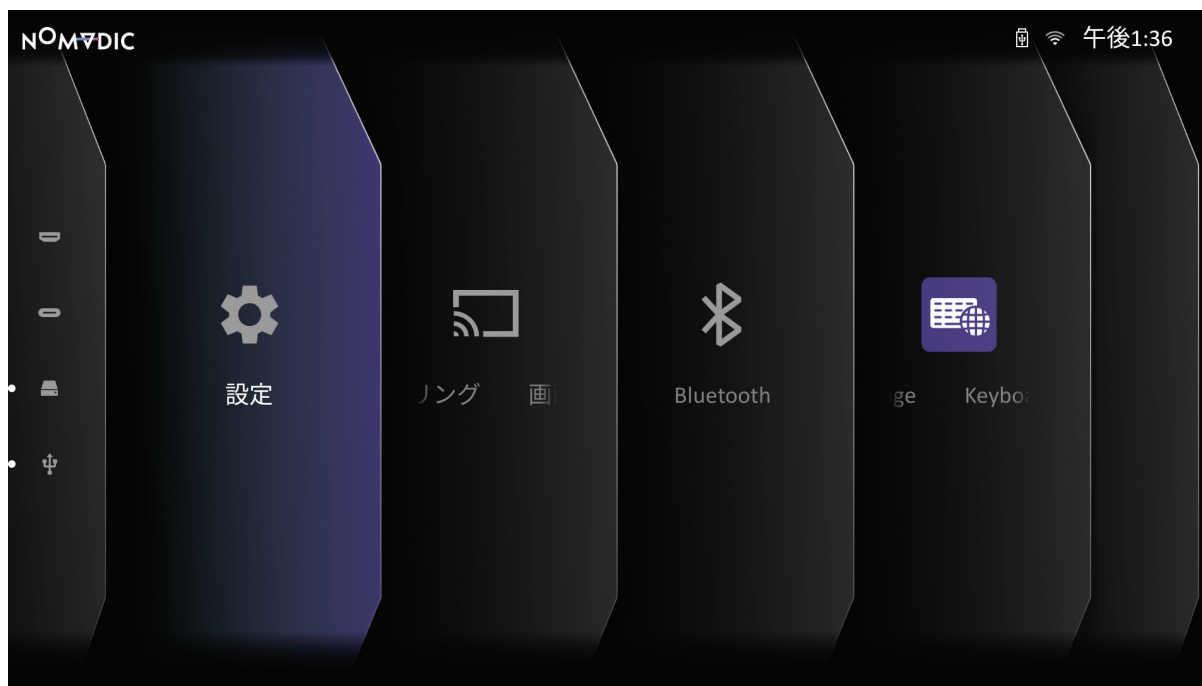
1. 次の順番で選択して、**アプリセンター**を開きます。**ホーム > アプリセンター**。
2. 方向ボタンを使ってアプリを選択します。
3. リモコンの **OK**  を3秒間押します。
4. **OK** を選択すると、アプリがアンインストールされます。

**注：**

- ・ リモコンの**ホーム**  を押すと、**ホーム画面**に戻ることができます。
- ・ プリインストールされているアプリはアンインストールできません。

## 設定

設定でネットワーク設定、日時、基本設定、詳細設定、ファームウェア アップグレードを調整し、インフォメーションを表示できます。



## ネットワーク設定

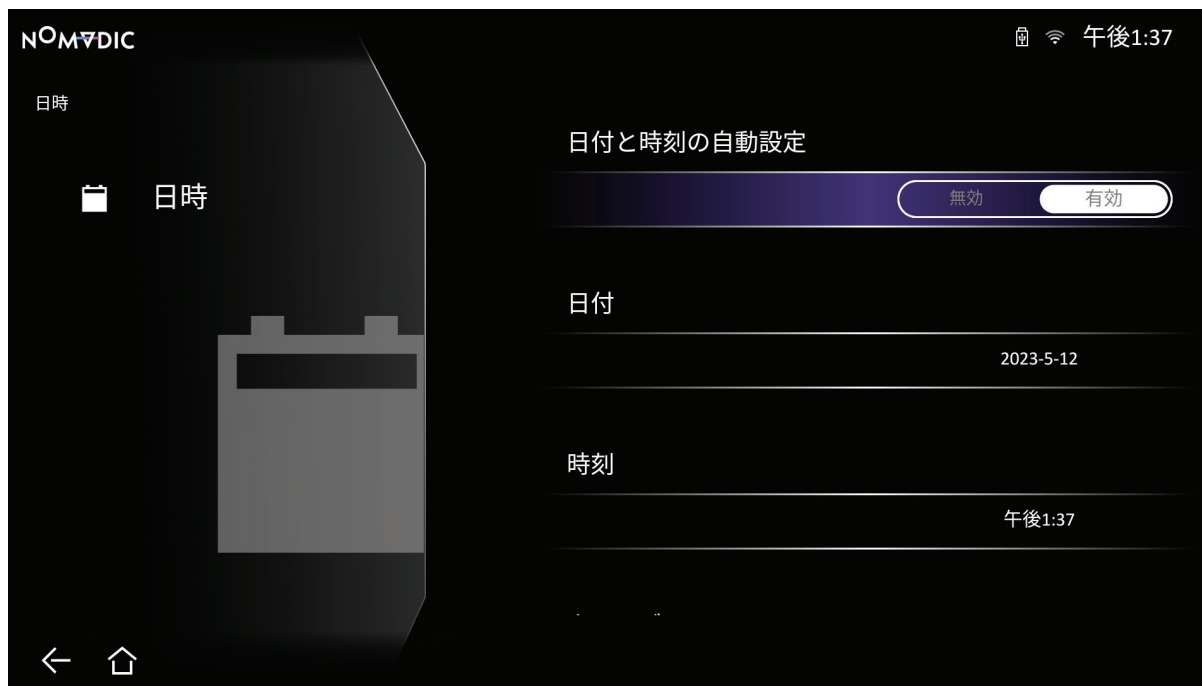
1. 次の順番で選択します。ホーム > 設定 > ネットワーク設定。



2. Wi-Fi とネットワーク設定を表示し、調整できます。
3. 無線接続を設定する方法については、27 ページをご覧ください。

## 日時

1. 次の順番で選択します。ホーム > 設定 > 日時。



2. 上  $\wedge$  / 下  $\vee$  を使ってオプションを選択し、OK  $\nabla$  を押します。または、調整したり、選択したりするには、左  $\langle$  / 右  $\rangle$  を使用します。



メニュー	説明
<b>日付と時刻の自動設定</b>	インターネットに接続されると、日付と時刻が自動的に同期されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有効 同期を有効にします。</li> <li>・ 無効 同期を無効にします。</li> </ul>
<b>日付</b>	ネットワークに接続すると、日付は自動的に調整されます。
<b>時刻</b>	ネットワークに接続すると、時刻は自動的に調整されます。
<b>タイムゾーン</b>	場所を選択します。
<b>時刻形式</b>	時間表示法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 時間 12 時間形式で表示します。</li> <li>・ 24 時間 24 時間形式で表示します。</li> </ul>

## 基本設定

1. 次の順番で選択します。ホーム > 設定 > 基本設定。

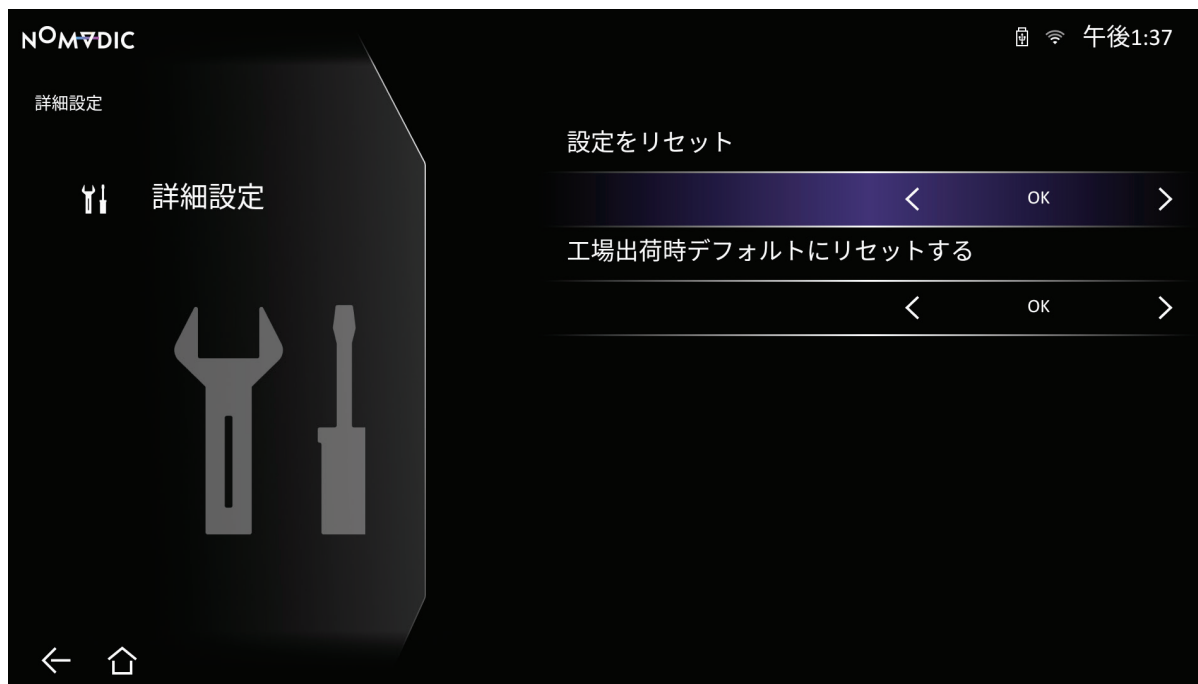


2. 左《 / 右》を押すと、言語選択ページが開きます。
3. 上 ^ / 下 v / 左《 / 右》を押して言語をハイライトし、OK ▽を押します。メニューの言語が変わり、メニューに戻ります。

メニュー	説明
言語選択	言語を選択します。

## 詳細設定

1. 次の順番で選択します。ホーム > 設定 > 詳細設定。



2. 上  $\wedge$  / 下  $\vee$  を使ってオプションを選択し、OK  $\nabla$  を押します。または、調整したり、選択したりするには、左  $\langle$  / 右  $\rangle$  を使用します。
3. 前のメニューに戻るには、戻る  $\leftarrow$  を押します。

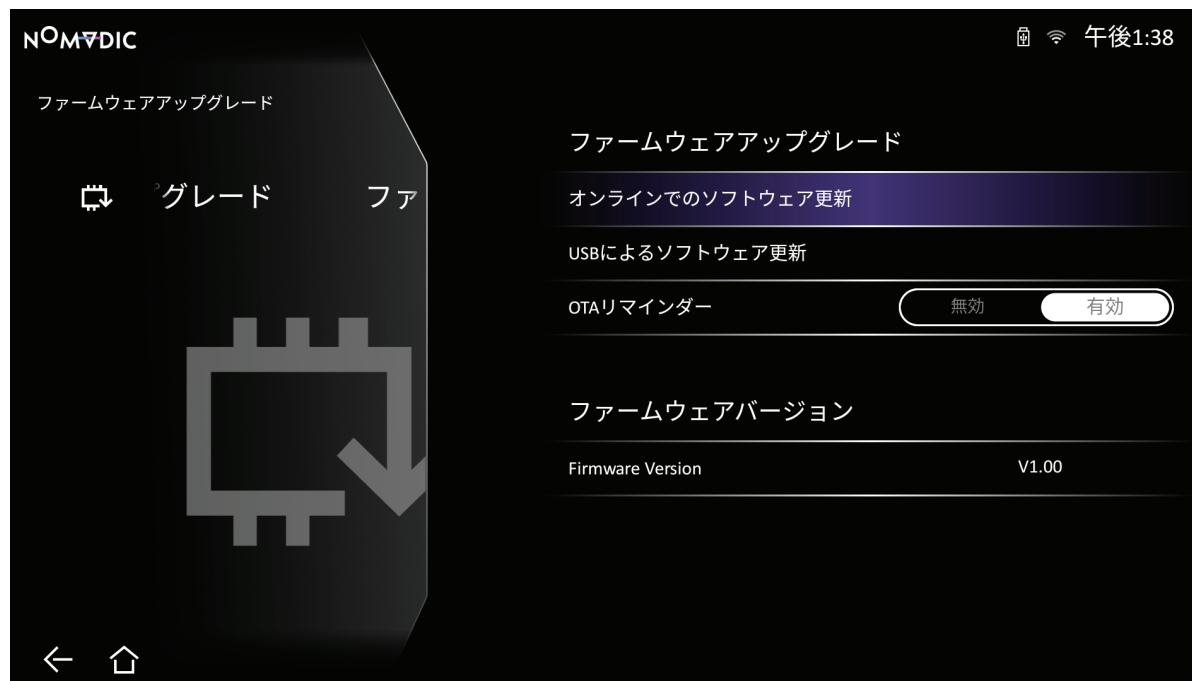
メニュー	説明
設定をリセット	Bluetooth/Wi-Fi 設定、およびその他の設定を初期値にリセットします。 <b>注：言語選択、アプリセンターでインストールされているすべてのアプリ、アプリ追加は変わらないままです。</b>
工場出荷時デフォルトにリセットする	初期値に戻します。

## ファームウェア アップグレード


ファームウェアはオンライン、または USB を使って更新することができます。バージョン番号を確認してください。


**注：**更新処理を行っている間は電源コードや USB を取り外さないでください。また、インターネットには接続したままにしてください。

1. **ファームウェア アップグレード** メニューを開く前に、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. 次の順番で選択します。ホーム > **設定** > **ファームウェア アップグレード**。



3. **上**  $\wedge$  / **下**  $\vee$  を使ってオプションを選択し、**OK**  $\nabla$  を押します。または、調整したり、選択したりするには、**左**  $\langle$  / **右**  $\rangle$  を使用します。
4. 前のメニューに戻るには、**戻る**  $\leftarrow$  を押します。

メニュー	説明
<p style="text-align: center;"><b>オンラインでのソフトウェア更新</b></p>	<p>アップデートを行うには、次の手順に従ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次の順番で選択します。<b>ホーム &gt; 設定 &gt; ファームウェアのアップグレード &gt; オンラインでのソフトウェア更新。</b></li> <li>2. リモコンの <b>OK</b>  を押して<b>確定</b>を選択します。</li> <li>3. システムは NOMVDIC ウェブサイト (OTA) を確認し、新しいファームウェアが見つかったとメッセージを表示します。</li> <li>4. <b>はい</b>を選択すると、アップデート状況を示す進行状況バーが表示されます。</li> <li>5. 100% になると、プロジェクターが再起動します。処理には約 10 分かかります。</li> <li>6. ファームウェアの更新が完了すると、数分でプロジェクターが再起動します。</li> </ol> <p><b>注：</b>更新中は、プロジェクターの画面が 10 分間黒くなります。</p>

メニュー	説明
USB によるソフトウェア更新	<p>アップデートを行うには、次の手順に従ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. NOMVDIC のウェブサイトから最新版のファームウェアをダウンロードし、そのファイルを USB デバイスにコピーします。</li> <li>2. USB デバイスをプロジェクターのコネクターポートの SERVICE ポートに接続し、次の順番で選択します。<b>ホーム &gt; 設定 &gt; ファームウェアアップグレード &gt; USB によるソフトウェア更新。</b></li> <li>3. リモコンの OK  を押して<b>確定</b>を選択します。</li> <li>4. システムがファームウェアバージョンを検出すると、ダイアログメッセージが表示されます。</li> <li>5. <b>はい</b>を選択すると、アップデート状況を示す進行状況バーが表示されます。</li> <li>6. 100% に達すると、プロジェクターが画面を再起動している間、数分間画面が黒くなります。処理には約 10 分かかります。</li> <li>7. ファームウェアの更新が完了すると、数分でプロジェクターが再起動します。</li> </ol> <p><b>注：</b>FAT32 フォーマットの USB デバイスを使用します。</p>
OTA リマインダー	<p>有効を選択すると、新しいバージョンのソフトウェアがリリースされたときに、インターネットに接続されたプロジェクターがリマインダーを表示します。</p>
ファームウェアバージョン	<p>ソフトウェアのバージョンが表示されます。</p>

## インフォメーション

1. 次の順番で選択します。ホーム > 設定 > インフォメーション。



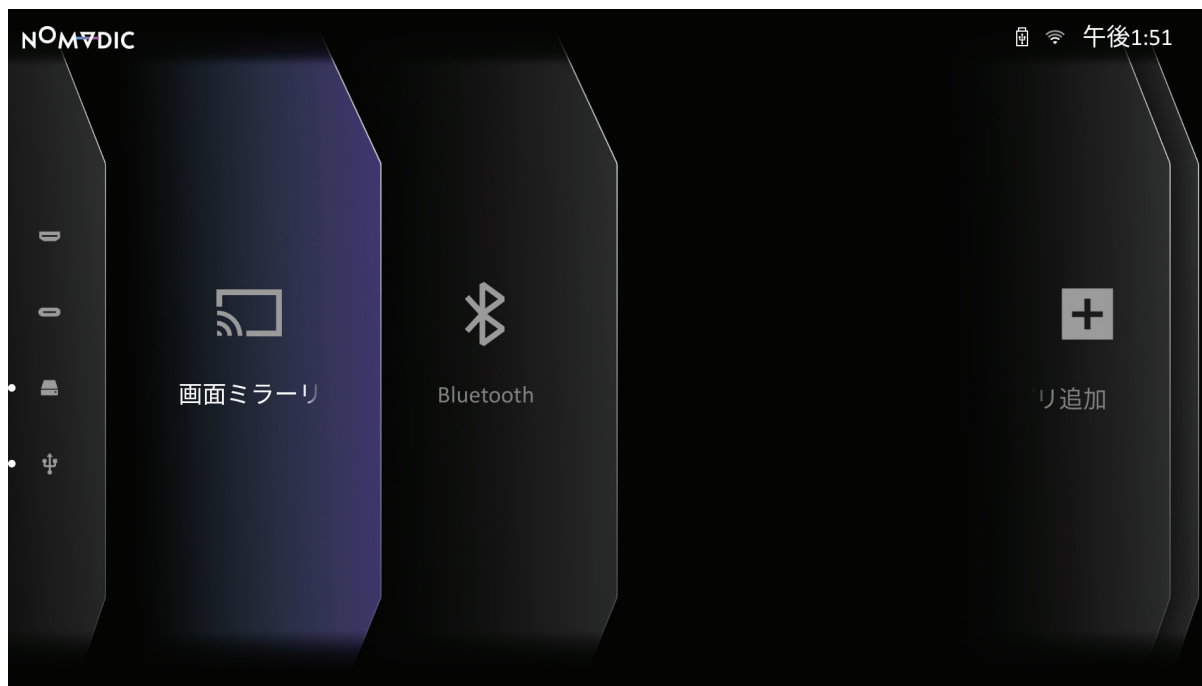
2. システム状態と情報が表示されます。

**注：**リモコンのホーム  を押すと、いつでもホーム画面に戻ることができます。

## 画面ミラーリング

パーソナル機器の画面をミラー化します。ワイヤレス画面ミラーリングを設定するには、24 ページをお読みください。

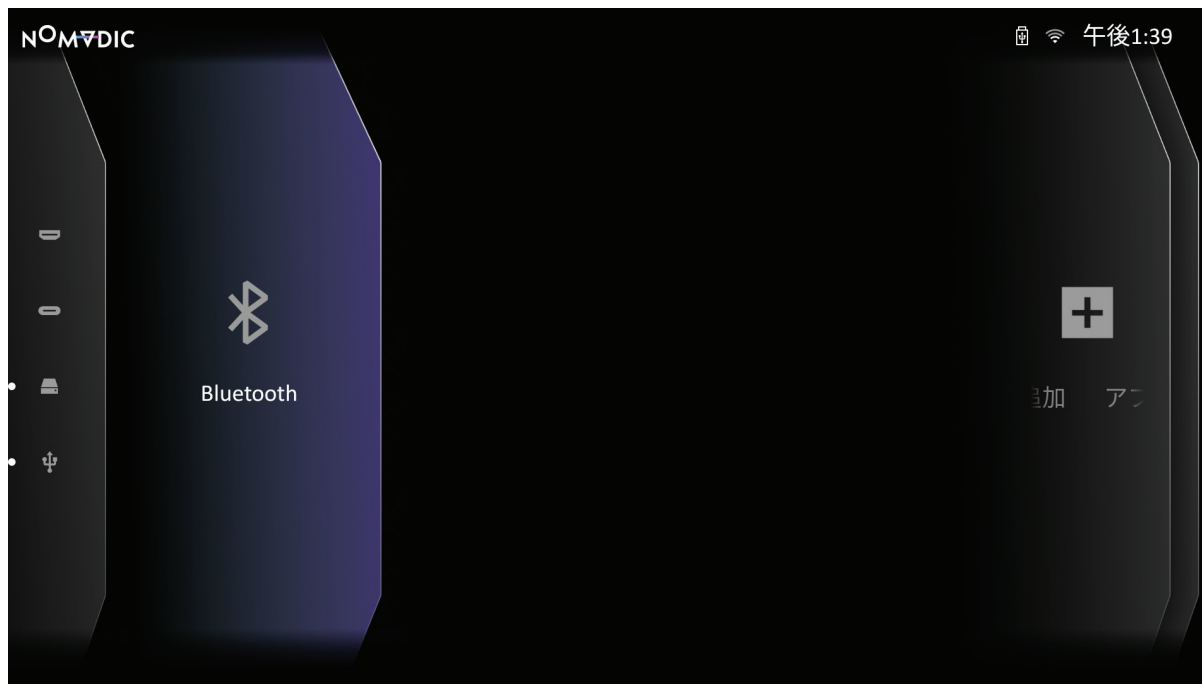
**注：**デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認します。





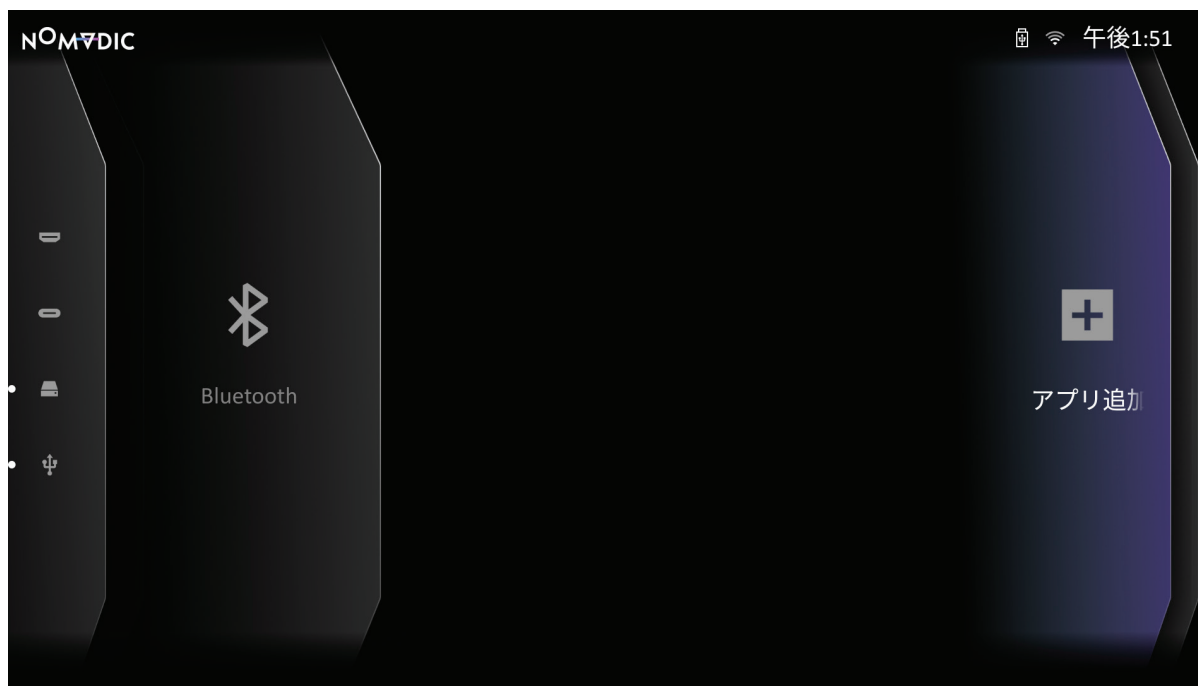
## Bluetooth

本機には、デバイスを無線で接続してオーディオを再生できる Bluetooth が搭載されています。詳細については、25 ページを参照してください。



## アプリ追加

好きなアプリをホーム画面に追加します。



1. ホーム画面からアプリ追加を選択し、リモコンでOK ▽を押します。
2. 上 ^ / 下 v / 左 < / 右 > を使って、アプリを選択し、OK ▽を押します。
3. これでお気に入りのアプリがホーム画面に表示されます。

**注：**ホーム画面には最大で4個までしかアプリを追加できません。

## ホーム画面からアプリを削除する

1. ホーム画面から削除したいアプリを選択し、OK ▽を3秒間押します。
2. 「お気に入りからこのアプリケーションを削除しますか？」というメッセージが表示されます。
3. 確認を選択し、OK ▽を押すとアプリが削除されます。

## プロジェクターシステムのオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

本機には各種調整や設定が行える、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューシステムが備わっています。次の手順でアクセスできます。



1. リモコンの **OSD メニュー** を押します。
2. リモコンの **左** / **右** を押して、メインメニューを選択します。
3. リモコンの **上** / **下** を押して、サブメニューを選択します。
4. **OK** を押してサブメニューを開き、**上** / **下** / **左** / **右** を使って設定を調整 / 選択します。
5. リモコンの **OSD メニュー** または **戻る** ボタンを押して、前のメニューに戻るか、終了します。

# プロジェクターシステムのオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー構造

入力源が選択されている場合は、プロジェクターの OSD メニューで画像を調整します。

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
表示	アスペクト比	自動	4:3	16:9	
		16:10	2.35:1	ネイティブ	
	フォーカス	手動			
		オートフォーカス	有効 / 無効		
	電動ズーム				
	台形補正	自動台形補正	オフ / オン		
		手動	垂直	+40 ~ -40	
			水平	+40 ~ -40	
			回転	+40 ~ -40	
	四隅の調整	右上	45° 90°		
		左上	45° 90°		
		右下	45° 90°		
		左下	45° 90°		
	ワープ	有効	オフ / オン		
		ワープ調整			
リセット					
ズーム	0.8 x ~ 2.0 x				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション				
表示	オーバースキャン		オフ 3	1 4	2 5	
	アイプロテクション		オフ	50cm	100cm	
画像	カラーモード		明るい 映画	TV ユーザー設定	ゲーム 低ブルーライト	
	輝度		0 ~ 100			
	コントラスト		-50 ~ 50			
	色温度			9300K	7500K	6500K
		赤ゲイン		0 ~ 100		
		緑ゲイン		0 ~ 100		
		青ゲイン		0 ~ 100		
		赤オフセット		-50 ~ +50		
		緑オフセット		-50 ~ +50		
		青オフセット		-50 ~ +50		
	詳細設定	色		-50 ~ +50		
		シャープネス		0 ~ 31		
		ガンマ調整		1.8	2.0	2.2
			2.35 sRGB	2.5	キュービック	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション				
画像	詳細設定	カラーマネージメント	原色 R	色相 彩度 ゲイン		
			原色 G			
			原色 B			
			原色 C			
原色 M						
原色 Y						
サイレンスモード		オフ / オン				
カラー設定をリセット						
電源管理	自動電源オン	信号	有効 / 無効			
		CEC	有効 / 無効			
		ダイレクト電源オン	有効 / 無効			
	スマートエネルギー	オートパワーオフ	無効 30分	10分	20分	
		スリープタイマー	無効	30分	1時間	
			2時間 8時間	3時間 12時間	4時間	
	省電力モード	有効 / 無効				
電源オン時ソース		無効	HDMI	USB C		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
基本設定	オーディオ設定	オーディオモード	音楽	スピーチ	映画
		ミュート	オフ / オン		
		音量	0 ~ 20		
		電源オンお知らせ音	オフ / オン		
	プレゼンテーション タイマー	タイマーの時間	1 ~ 240 m		
		タイマー表示	常に使用する 3分	1分 常に使用しない	2分
		タイマーの位置	左上 右下	左下	右上
		タイマーのカウント 方法	減少	増加	
		サウンドによる通知	オフ / オン		
		カウント開始 / オフ			
	パターン		オフ	テストカード	
	メッセージ		オフ / オン		
	起動画面		黒	青	NOMVDIC

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
詳細設定	3D 設定	3D フォーマット	自動 フレームパッキング	オフ トップアンドボトム	フレームシーケンシャル サイドバイサイド
		3D 逆同期	無効	逆転	
		3D 設定を保存			
	HDMI 設定	HDMI フォーマット	自動	RGB	YUV
		HDMI 範囲	自動	拡張	ノーマル
	HDR	HDR/HLG	自動	SDR	
		EOTF	低	中	高
	Ultra Fast Input		キャンセル	有効	
	光源の設定	光源モード	ノーマル	Eco	ダイナミックブラック 1
			ダイナミックブラック 2	カスタム	
		光源の電源	20%	40%	60%
			80%	100%	
		光源時間をリセット			
	光源時間情報	光源使用時間		ノーマル	
	スマートシステムを再起動		再起動 / キャンセル		
設定をリセット		リセット / キャンセル			















メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション				
システム	言語選択		English Français Deutsch Italiano Español 繁體中文 <b>日本語</b> 韓語 Svenska	PolSKI Suomi العربية Bahasa Indonesia हिंदी 簡體中文 Português ไทย Ελληνικά	Nederlands Türkçe Čeština Tiếng Việt Русский Magyar	
	プロジェクターの設置場所		フロント投映 天吊正面	リア投映	天吊背面	
	メニュー設定	メニュー表示時間		5 秒 20 秒	10 秒 25 秒	15 秒 30 秒
		メニュー位置		中央 左下	左上 右下	右上
	高地モード		オフ / オン			
	セキュリティ設定	パスワードの変更				
		電源ロック		オフ / オン		
	コントロールボタンロック		オフ / オン			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
インフォメーション	ソース		
	カラーモード		
	解像度		
	カラーシステム		
	ファームウェアバージョン		
	Ultra Fast Input		
	シリアル番号		

## 表示メニュー

メニュー	説明
アスペクト比	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自動 イメージを本機本来の解像度の水平幅に合わせて表示します。これは入力イメージが 4:3 でも 16:9 でもなく、画像の縦横比を変えずにスクリーンを有効に活用したいときに便利です。</li><li>• 4:3 スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更せずにするため、ある種のコンピューターモニター、標準精度の TV、縦横比 4:3 の DVD ムービーなどの 4:3 イメージに適しています。</li><li>• 16:9 スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。この設定は、縦横比を変更する必要がないため高精度 TV など、すでに縦横比が 16:9 になっているイメージに適しています。</li><li>• 16:10 スクリーンの中央が 16:10 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更する必要のない、縦横比 16:10 の画像に適しています。</li><li>• 2.35:1 画像の縦横比を維持しながら、スクリーンの中心が 2.35:1 になるように画像を調整します。</li><li>• ネイティブ イメージはその本来の解像度で投写され、表示エリアに合わせてリサイズされます。低解像度の入力信号の場合は、投写画像が本来のサイズで表示されます。</li></ul>



メニュー	説明
フォーカス	<p>映像のフォーカスを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手動 左《 / 右 》を使って手動で画像フォーカスを補正します。</li> <li>・ オートフォーカス 有効を選択して、映像のフォーカスを自動的に補正します。</li> </ul> <p><b>注：</b>スクリーンサイズは 60 ~ 120 インチをお勧めします。このサイズがお客様の用途に合わない場合は、フォーカスを手動で調整してください。</p>
電動ズーム	<p>左《 / 右 》を使って投写画像を拡大 / 縮小します。</p>
台形補正	<p>台形補正とは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまいう状態のことです。詳細は、36 ページの「台形補正」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動台形補正 歪んだ画像が自動的に補正されます。</li> </ul> <p><b>注：</b>自動台形補正の範囲は次のとおりです。このサイズがお客様の用途に合わない場合は、フォーカスを手動で調整してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水平：+25° ~ - 25°</li> <li>・ 垂直：+25° ~ - 25°</li> <li>・ 回転：+20° ~ - 20°</li> </ul> <li>・ 手動 歪んだ映像を次の方向に手動で補正します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>» 垂直：縦方向の台形歪みを補正します。</li> <li>» 水平：横方向の台形歪みを補正します。</li> <li>» 回転：投写画像を右回り / 左回りに回転させます。</li> </ul> </li>

メニュー	説明
四隅の調整	すべての辺が均等でない画像の形状とサイズを調整します。詳細は、37 ページの「四隅の調整」を参照してください。
ワープ	<p>この機能は、円柱や球体など不均等な面に映像を写すとき、プロジェクター映像の幾何学的歪みを構成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> </ul> <p>台形補正および四隅の調整は、ワープが有効になっているときには使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワープ調整</li> </ul> <p>ワープ &gt; 有効メニューでオンを選択すると、この機能が使用できるようになります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>OK  を押すと、次のメニューが開きます。次に、投写画像にグリッドパターンを表示するかどうかを選択します。</li> <li>上  / 下  / 左  / 右  を使ってカーソルを調整したいポイントに動かしてください。</li> <li>OK  を押すと調整モードに入ります。</li> <li>上  / 下  / 左  / 右  を使って、x 軸と y 軸でポイントをシフトできます。</li> <li>完了したら、OK  を使って調整内容を保存します。</li> <li>ステップ 4 から 5 を繰り返して、画像が正しく表示されるまで他のポイントも調整します。</li> <li>OSD メニュー  を押して、調整モードを保存して終了します。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>リセット</li> </ul> <p>調整したすべての設定を初期値に戻します。</p>
ズーム	投写画像を拡大し、画像内をナビゲートできます。
オーバースキャン	オーバースキャン率を 0 から 5 の範囲で調整します。

メニュー	説明
アイプロテクション	投写中に光源の近くに物体があると (50 cm または 100 cm)、プロジェクターが消画モードになります。

## 画像メニュー

メニュー	説明
カラーモード	<p>このプロジェクターは操作環境や入力信号によって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードが設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るい 画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要のある環境に適しています（本機を明るい部屋で使用する場合など）。</li> <li>・ TV 明るい照明の中でのスポーツ観戦向けに最適化されています。</li> <li>・ ゲーム ビデオゲームを楽しむためのモードです。</li> <li>・ 映画 カラフルな映像やデジタルカメラのビデオクリップ、PC 入力からの DV を再生するのに適したカラーモードです。照明が暗い場所に適したモードです。</li> <li>・ ユーザー設定 カスタマイズした設定を呼び出します。</li> <li>・ 低ブルーライト 人体に有害なブルーライトの放出を低減します。</li> </ul>

メニュー	説明
<p style="text-align: center;"><b>輝度</b></p>	<p>値を高くするほど画像の輝度が増加します。値を低くするほど画像の輝度が下がります。</p> <div style="text-align: center;">  <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>30</span> <span>50</span> <span>80</span> </p> </div>
<p style="text-align: center;"><b>コントラスト</b></p>	<p>選択した入力と表示環境に合わせて<b>輝度</b>を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。</p> <div style="text-align: center;">  <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>-30</span> <span>0</span> <span>30</span> </p> </div>
<p style="text-align: center;"><b>色温度</b></p>	<p>いくつかのプリセット色温度設定が使用できます（9300K、7500K、6500K）。選択できる設定は、個人環境によって異なります。</p> <p>カスタム色温度を設定するには、次の項目を調整できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤ゲイン / 青ゲイン / 緑ゲイン 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。</li> <li>・ 赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット 赤、緑、青の輝度レベルを調整します。</li> </ul>

メニュー	説明
<p style="text-align: center;"><b>詳細設定</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色 設定を下げると、彩度が低くなります。設定が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。</li> <li>・ シャープネス 値を高くすると画像がよりシャープになり、値を下げると画像はソフトなイメージになります。</li> <li>・ ガンマ調整 ガンマ調整本機のグレイスケール レベルの輝度レベルのことです。</li> <li>・ カラーマネージメント 重役会議室、レクチャホール、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合に限り、<b>カラーマネージメント</b>を考慮する必要があります。 <b>カラーマネージメント</b>を使用すると、色をより正確に再現するために、より詳細に色を調整することができます。調整を行うには、R/G/B/C/M/Yから現職を選択し、色相、彩度、ゲインの値を調整します。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>サイレンスモード</b></p>	<p>アコースティックノイズを縮小します。プロジェクターのノイズを消して、非常に静かな環境で観たい映画に適しています。このモードがオンのとき、XPRはオフになります（投写画像は自動的に1080p解像度に切り替わります）。この機能は、プロジェクターの電源が切れているときにはオフになります。</p>
<p style="text-align: center;"><b>カラー設定をリセット</b></p>	<p>現在のカラー設定をデフォルト値に戻します。</p>



メニュー	説明
<p><b>自動電源オン</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信号 有効を選択すると、HDMI / USB C ケーブルから HDMI / USB C 信号が入力されると、プロジェクターが自動的にオンになります。</li> <li>・ CEC 本機は、HDMI 接続を介して電源のオン / オフ操作を同期できる CEC (Consumer Electronics Control) 機能に対応しています。つまり、CEC 機能に対応しているデバイスがプロジェクターの HDMI 入力に接続されていると、プロジェクターの電源を切ったときには、接続したデバイスの電源も自動的に切れます。接続してあるデバイスの電源を入れると、本機の電源も自動的に入ります。</li> </ul> <p><b>注：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正常に機能させるには、HDMI ケーブルでデバイスを本機の HDMI 入力に正しく接続すると CEC 機能が有効になります。</li> <li>・ 接続したデバイスによっては、CEC 機能が作動しない場合があります。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダイレクト電源オン 電源コードから電源が供給されると、本機は自動的にオンになります。</li> </ul>

メニュー	説明
<p>スマートエネルギー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オートパワーオフ 指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要に光源の寿命を消耗しないように自動的に本機の電源をオフにします。</li> <li>・ スリープタイマー 指定した時間を経過したら、不要に光源の寿命を消耗しないように自動的に本機の電源をオフにします。</li> <li>・ 省電力モード 入力源が検出されなければ、消費電力量は低減されます。有効を選択すると、5分間信号が検出されなければ本機の光源モードはEcoモードに変わります。このことは、光源の寿命を延長するのにも役立ちます。</li> </ul>
<p>電源オン時ソース</p>	<p>プロジェクターの電源を入れたあと、直接入力源に入ることができます。</p>

## 基本設定メニュー

メニュー	説明
<b>オーディオ設定</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ オーディオモード オーディオコンテンツに応じて最も合ったオーディオモデルを選択してま す。</li><li>・ ミュート オンを選択すると、本機の内部スピーカー、またはオーディオ出力端子か ら出力されるボリュームが一時的にオフになります。</li><li>・ 音量 本機の内部スピーカーの音量レベル、またはオーディオ出力ジャックから 出力される音量を調整します。</li><li>・ 電源オン/オフお知らせ音 起動時とシャットダウン時のリングトーンをオン / オフにします。</li></ul>
<b>プレゼンテーションタイマー</b>	<p>プレゼンテーションタイマーはプレゼンテーション時間をスクリーン上に 表示して、発表者が上手く時間管理できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ タイマーの時間 時間範囲を設定します。すでにタイマーがオンになっている場合は、 タイマーの時間をリセットするとタイマーがカウントを新しく開始しま す。</li><li>・ タイマー表示 次の時間範囲で画面にタイマーを表示できるようにします。<ul style="list-style-type: none"><li>» 常に使用する：プレゼンテーション中、常にタイマーをスクリーン 上に表示します。</li><li>» 1分 / 2分 / 3分：タイマーを最後の 1/2/3 分間だけ表示します。</li><li>» 常に使用しない：プレゼンテーション中、タイマーを表示しま せん。</li></ul></li></ul>

メニュー	説明
プレゼンテーションタイマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タイマーの位置 タイマーの位置を設定します。</li> <li>• タイマーのカウント方法 カウントする方向を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>» 減少：あらかじめ設定した時間から 0 までカウントダウンします。</li> <li>» 増加：0 からあらかじめ設定した時間までカウントを重ねます。</li> </ul> </li> <li>• サウンドによる通知 サウンドによる通知を有効にします。これを選択すると、カウントダウン/アップが残り 30 秒になるとビーッという音が 2 回鳴り、タイムアップすると 3 回鳴ります。</li> <li>• カウント開始 / オフ カウント開始を選択すると、タイマーが有効になります。オフを選択すると、キャンセルします。</li> </ul>
パターン	画像サイズとフォーカスを調整し、投写画像の歪みをチェックします。
メッセージ	アラームメッセージをオンまたはオフにします。
起動画面	起動時に表示されるロゴ画面をユーザーが選択することができます。

メニュー	説明
<p>3D 設定</p>	<p>本機には、画像に深みを与えることで3D ムービー、動画、スポーツイベントをよりリアルにご覧いただける3D機能が搭載されています。3D映像をご覧になるには、3Dメガネを着用する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3D フォーマット デフォルト設定は自動で、3Dコンテンツが検出された場合は本機が自動的に適切な3Dフォーマットを選択します。本機が3Dフォーマットを識別できない場合は、3Dモードを選択してください。</li> <li>3D 逆同期 画像の深さが逆転している場合は、この機能を有効にすると問題を解決できます。</li> <li>3D 設定を保存 現在の3D設定を保存します。同じ解像度と入力源が選択されていれば、3D設定が自動的に適用されます。</li> </ul> <p><b>注：</b>3D同期機能がオンのとき：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投写画像の輝度レベルが下がります。</li> <li>カラーモード、光源モード、ズーム、オーバースキャンは調整できません。</li> </ul>

メニュー	説明
HDMI 設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HDMI フォーマット 接続した出力デバイスのカラースペース設定に基づいて、適切なカラースペースを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>» 自動：入力信号のカラースペース設定が自動的に検出されるようにプロジェクターを設定します。</li> <li>» RGB：カラースペースを RGB に設定します。</li> <li>» YUV：カラースペースを YUV に設定します。</li> </ul> </li> <li>• HDMI 範囲 接続した出力デバイスの色域設定に基づいて、適切な HDMI 色域を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>» 自動：プロジェクターに入力信号の HDMI 範囲を自動的に検出させます。</li> <li>» 拡張：HDMI カラー範囲を 0 - 255 として設定します。</li> <li>» ノーマル：HDMI カラー範囲を 16 - 235 として設定します。</li> </ul> </li> </ul>
HDR	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HDR/HLG 本機は、HDR 入力源に対応しています。これは入力源のダイナミックレンジを自動的に検出し、広範囲の照明状況で映像を再現できるように画像ガンマ値およびカラー設定を最適化します。または、SDR を選択することもできます。</li> <li>• EOTF プロジェクターは、入力源に応じて映像の輝度レベルを自動調整できません。通常は、デフォルト値「中」を推奨します。投写画像が暗い場合は、「低」を選択してください。グラデーションのプロパティが優先する場合は、「高」を選択してください。</li> </ul>

メニュー	説明
Ultra Fast Input	<p>この機能は、フレームレートを下げたいときに有効です。ネイティブタイミングでは応答時間が早くなります。有効にすると、次の設定（該当する場合）が初期値に戻されます：アスペクト比、ズーム、オーバースキャン。</p> <p><b>注：</b>この機能は、次の入力タイミングが適用されている場合にしか有効になりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 4K@60Hz</li> <li>• 1440P@60/120Hz</li> <li>• 1080P@60/120/240Hz</li> </ul>
光源の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 光源モード <ul style="list-style-type: none"> <li>» ノーマル：光源を完全に明るくします。</li> <li>» Eco：光源の電力消費量を最大で 20% も低減し、輝度を下げて光源の寿命を延長させるだけでなく、ファンのノイズも低減させます。</li> <li>» ダイナミックブラック 1：コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 70% 節電できます。</li> <li>» ダイナミックブラック 2：コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 50% 節電できます。</li> <li>» カスタム：光源の電力を調整できます。</li> </ul> </li> <li>• 光源の電源 光源モードがカスタムの際にのみ使用できます。</li> <li>• 光源時間をリセット 新しい光源に交換した後は、光源タイマーをリセットします。光源を交換する場合は、専門のサービス担当者にお問い合わせください。</li> <li>• 光源時間情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>» 光源使用時間：光源の使用時間数を表示します。</li> </ul> </li> </ul>
スマートシステムを再起動	リセットを選択してすぐにスマートシステムを再起動します。

メニュー	説明
設定をリセット	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。設定をリセットを使用すると、次の設定は現在の設定値のまま維持されます：電動ズーム、四隅の調整、ワープ、ズーム、台形補正、光源時間情報、言語選択、プロジェクターの設置場所、高地モード、セキュリティ設定。









## システムメニュー

メニュー	説明
言語選択	言語を選択します。
プロジェクターの設置場所	投写位置を選択します。
メニュー設定	<ul style="list-style-type: none"><li>・ メニュー表示時間 最後に操作が行われてから OSD が表示され続ける時間を設定します。</li><li>・ メニュー位置 OSD メニューの位置を選択します。</li></ul>
高地モード	<p>海拔 1500 m ~ -3000 m、気温 0°C ~ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、高地モードを使用されるようお勧めします。</p> <p><b>注：</b>上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクターを使用すると、プロジェクターが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクターを過熱から保護するために施された機能です。このような場合は、高地モードに切り替えてこのような現象を解決してみてください。ただし、これはこのプロジェクターが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。</p>
セキュリティ設定	不正アクセスや不正使用を防止するために、本機にはパスワードオプションが搭載されています。パスワードはオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで設定します。

## セキュリティ設定




**パスワードの設定**

1. セキュリティ設定 > 電源ロックメニューを開き、オンを選択します。
2. 貯めんの指示にしたがって、4つの矢印キー(上  / 下  / 左  / 右 ) を使って6桁のパスワードを入力します。
3. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。パスワードの設定が完了すると、オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューはセキュリティ設定ページに戻ります。
4. **OSDメニュー**  または**戻る**  を押して OSD メニューを閉じます。

**注：**

- ・ パスワードは書き留めておいて、安全な場所に保管しておいてください。
- ・ パスワードを設定した後は、本機を起動する度に正しいパスワードを入力する必要があります。

**パスワードの変更：**



1. セキュリティ設定 > パスワードの変更メニューを開き、**OK**  を押します。
2. 古いパスワードを入力してください。
  - » パスワードが正しければ、「新しいパスワード」というメッセージが表示されます。
  - » パスワードを正しく入力しなければ、5秒間パスワードエラーメッセージが表示され、続いて「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。入力し直してください。キャンセルする場合は **OSDメニュー**  または**戻る**  を押します。
3. 新しいパスワードを入力します。
4. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。

## セキュリティ設定

5. OSD メニューを終了するには、**OSD メニュー**  または**戻る**  を押します。

**注：**入力した数字は画面上にはアスタリスク (\*) で表示されます。

**パスワード機能を無効にする**

1. セキュリティ設定 > 電源ロック メニューを開き、オフを選択します。
2. 現在のパスワードを入力してください。
  - » パスワードが正しく入力された場合は、電源ロックの欄が「オフ」の状態パスワードページに戻ります。
  - » パスワードを正しく入力しなければ、5 秒間パスワード エラーメッセージが表示され、続いて「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。入力し直してください。キャンセルする場合は **OSD メニュー**  または**戻る**  を押します。


**注：**古いパスワードは、パスワード機能を再度有効にするときに必要ですので記録しておいてください。

**パスワードを忘れた場合**

パスワード機能を有効にすると、プロジェクターをオンにするたびに 6 桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、パスワードエラーメッセージが 5 秒間表示され、次に「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。

**注：**パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクターは間もなく自動的にシャットダウンします。

やり直すことができます。パスワードを忘れた場合は、下記の説明にしたがって「パスワード呼び出し手順」を行ってください。

メニュー	説明
セキュリティ設定	<p><b>パスワード呼び出し手順</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「現在のパスワード」というメッセージが表示されたら、3 秒間 <b>OK</b>  を押し続けてください。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。</li> <li>2. 番号を書き留めて、プロジェクターをオフにしてください。</li> <li>3. 番号をデコードするには、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクターを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。</li> </ol>
コントロールボタンロック	本機のコントロールキーをロックします。

## インフォメーションメニュー

メニュー	説明
ソース	現在の入力源を表示します。
カラーモード	画像メニューで選択したモードを表示します。
解像度	入力源のネイティブ解像度を表示します。
カラーシステム	カラーシステムフォーマットを表示します。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
Ultra Fast Input	機能がアクティブかどうかを表示します。
シリアル番号	プロジェクターのシリアル番号を表示します。

# 付録

## 仕様

アイテム	カテゴリー	仕様
プロジェクター	タイプ	0.65" 4K-UHD、LED
	ディスプレイサイズ	60" ~ 180"
	スロー距離	0.69 ~ 0.83 m (95" ± 3%@1.44 m)
	レンズ	F = 2.60 - 2.8、f = 10.2-12.2 mm
	光学ズーム	1.2x (電動)
	デジタルズーム	0.8 x ~ 1.0 x
	光源タイプ	RGB LED
	光源	ノーマルモード：標準 20K 時間 エコモード：標準 30K 時間
	ディスプレイカラー	10.7 億色
	台形補正	垂直：-/+ 40°、水平：-/+ 40°、 回転：-/+ 40° (手動と自動)
入力信号	HDMI $f_h$ : 15K ~ 135 kHz、 $f_v$ : 24 ~ 240 Hz	
解像度	ネイティブ	3840 x 2160
	対応	VGA (640 x 480) から 4K-UHD (3840 x 2160)
ローカルストレージ	内蔵	16 GB (12 GB 使用可能)

入力	HDMI	1 (HDMI 2.0b、 HDCP 2.2)	
	USB Type C	1 (5V / 1A、最も明るいモードを使用している場合を除く)	
	USB Type A	1 x USB 2.0 リーダー	
	Wi-Fi 入力	1 (5G、 802.11 a/b/g/n)	
	Bluetooth 入力	1 (BT 4.2 / 音声入力)	
出力	Bluetooth 出力	1 (BT 4.2 / 音声出力)	
	スピーカー	6W Cube x 2	
	USB Type A (電源)	1 (USB 2.0、 5V/1A、 リーダーと共有)	
電源アダプター	出力電圧	AC IN 20.0V / 9.0A	
操作条件	温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	
	湿度	0% ~ 90% (結露なきこと)	
外形寸法	本体 (W x H x D)	210 x 177 x 206 mm (8.27" x 6.95" x 8.12")	脚は含まず
重量	本体	3.1 +/- 0.2 kg (6.84 +/- 0.44 lbs)	
消費電力	ノーマルモード	標準: 160W@100VAC、 159W@220VAC	
	Ecoモード	標準: 100W@100VAC、 99W@220VAC	



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

# タイミングチャート

HDMI/USB C (PC)			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	60/72/75/120
SVGA	800 x 600	4:3	60/72/75/120
XGA	1024 x 768	4:3	60/72/75/120
	1152 x 864	4:3	75
HD	1280 x 720	16:9	60/120
WXGA	1280 x 768	15:9	60
	1280 x 800	16:10	60/75/120
	1366 x 768	16:9	59.7
Quad-VGA	1280 x 960	4:3	60
SXGA	1280 x 1024	5:4	60/75
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
UXGA	1600 x 1200	4:3	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
WUXGA	1920 x 1200	16:10	60
MAC 13"	640 x 480	4:3	67
MAC 16"	832 x 624	4:3	75
MAC 19"	1024 x 768	4:3	75
MAC 21"	1152 x 870	4:3	75
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	60/120/240
1440p	2560 x 1440	16:9	60/120RB
4K UHD	3840 x 2160	16:9	30/60

HDMI/USB C (ビデオ)			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
HDTV (4K)	3840 x 2160	16:9	24/25/30/50/60
HDTV (1440p)	2560 x 1440	16:9	60/120RB
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	24
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	50/60
HDTV (1080i)	1920 x 1080	16:9	50/60
HDTV (720p)	1280 x 720	16:9	50/60
SDTV (480p)	720 x 480	4:3/16:9	60
SDTV (576p)	720 x 576	4:3/16:9	50
SDTV (480i)	720 x 480	4:3/16:9	60
SDTV (576i)	720 x 576	4:3/16:9	50

HDMI 3D			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
フレームパッキング形式			
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60
サイドバイサイド形式			
1080i	1920 x 1080	16:9	50/60
1080p	1920 x 1080	16:9	50/60
トップアンドボトム形式			
1080p	1920 x 1080	16:9	24/50/60
720p	1280 x 720	16:9	50/60
576p	720 x 576	16:9	60
480p	720 x 480	16:9	59.94



## 3D (HDMI 信号を含む)



信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
SVGA	800 x 600	4:3	60*/120**
XGA	1024 x 768	4:3	60*/120**
HD	1280 x 720	16:9	60*/120**
WXGA	1280 x 800	16:9	60*/120**
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	60

**注：**

- \*60 Hz 信号は、サイドバイサイド、トップアンドボトム、フレームシーケンシャルフォーマットでサポートされています。
- \*\*120 Hz 信号は、フレームシーケンシャルフォーマットのみサポートしています。

# トラブルシューティング

ここでは、プロジェクターに関連する一般的に見られる問題について説明します。

問題	対策
プロジェクターの電源がオンにならない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードが正しくプロジェクターとコンセントに接続されているか確認してください。</li><li>冷却処理が完了していない場合は、冷却処理が完了してから電源を入れなおしてください。</li><li>それでも電源がオンにならない場合は、別のコンセントに接続してみるか、同じコンセントに別の電子機器を接続してみてください。</li></ul>
画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"><li>ビデオケーブルが正しく接続され、ビデオ入力源がオンになっているか確認してください。</li><li>ホーム画面から正しい入力信号を選択してください。</li></ul>
画像がぼける	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンの<b>フォーカス</b>  を押して、画像の鮮明さを向上してください。</li><li>プロジェクターとスクリーンを正しく揃えて設置してください。必要であれば、プロジェクターの高さと投写角度および方向も調整してください。</li></ul>
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認し、リモコンからプロジェクターまでの距離は8メートル（26フィート）以内であることを確認してください。</li><li>電池が切れている可能性があります。必要であれば、交換してください。</li></ul>
プロジェクター / システムが固まり、応答しない	<ul style="list-style-type: none"><li><b>電源</b>  を押してプロジェクターの電源を切った後、再起動してください。</li></ul>

問題	対策
Bluetooth または WiFi 接続ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 入力源が SMART SYSTEM の場合は、<b>設定 &gt; 詳細設定 &gt; 設定をリセット</b>メニューで Wi-Fi モバイルと Bluetooth の構成をリセットしてください。</li> <li>• WiFi 機能をオフにして、<b>設定 &gt; ネットワーク設定 &gt; WiFi</b>メニューで再度オンにしてください。</li> </ul>

## LED インジケータ

ライト	状態と説明
オレンジ色	スタンバイモード
緑に点滅	電源を入れています
緑	通常動作状態です
赤	ダウンロード中
オレンジ色点滅	書き込みオフ
1秒に1回赤く点滅	ファンエラー
3秒に1回赤く点滅	感熱および温度エラー
交互に緑と赤に点滅	光源エラー

# メンテナンス

## 全般的な注意

- ・ プロジェクターの電源が切っており、コンセントから外してあることを確認してください。
- ・ プロジェクターのパーツは絶対に取り外さないでください。プロジェクターのパーツの交換が必要な場合は、販売店にご相談ください。
- ・ ケースにスプレーを吹き付けたり、液体を直接かけたりしないでください。
- ・ プロジェクターの取り扱いにはご注意ください。暗い色のプロジェクターについての傷は、明るい色のプロジェクターよりも目立ちます。

## レンズのお手入れ

- ・ 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- ・ 汚れやしみが落ちない場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きま  
す。

注意：研磨剤でレンズをこすらないでください。

## プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

- ・ 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認します。
- ・ 高さ調整用脚を完全におさめます。
- ・ リモコンから電池を取り外します。
- ・ プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまします。

## おことわり

- ・ レンズやケースにアンモニア系またはアルコール系のクリーナーをご使用になることはお勧めしません。化学クリーナーによっては、レ  
ンズやケースが破損する場合がありますと報告されています。
- ・ NOMVDIC™ は、アンモニア系またはアルコール系のクリーナーを使用した結果生じた故障については一切責任を負いません。

# 規制および補修情報

## コンプライアンス情報

ここでは、関連する要件や規制に関する声明について説明します。正確な用途は、ネームプレートのラベルおよび本体に表記されるマーク等をご確認ください。

### FCC 準拠宣言

本製品は、FCC 規定の第 15 条に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。(1) 有害な電波障害を起こさないこと (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、クラス B デジタル機器の制限に従っています。

これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあげる。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- ディーラーか経験のあるラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

**注意：**コンプライアンスに責任を持つ団体が認めない改造や変更を行うと、本機を操作する権利が失効します。

## **FCC 放射線曝露にかかる宣言**

本機は、制御できない環境での使用について制定された、FCC 放射線曝露制限に準拠しています。お客様は、安全のための RF 暴露コンプライアンスに準拠するために、必ず指示に従って操作をしてください。

このトランスミッターは他のアンテナやトランスミッターと一緒に設置したり、同時に使用したりすることはできません。本機を設置または操作する際は、ラジエーターから 20cm 以上離れた場所で行ってください。

コンプライアンスへの準拠に責任を持つ団体が認めない変更、改ざんを行うと、本機を使用する権限が失われる場合があります。

## **Industry Canada Statement**

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

## **IC 警告**

本機は、Industry Canada license- RSS 規制対象外に準拠します。操作は次の 2 つの条件に規定されます。(1) 電波障害を起こさないこと (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

## **国別コードの宣言**

米国 / カナダ市場において販売される製品については、チャンネル 1 ~ 11 まで操作可能です。その他のチャンネルは選択できません。

Pour les produits disponibles aux États-Unis/Canada du marché, seul le canal 1 à 11 peuvent être exploités. Sélection d'autres canaux n'est pas possible.

## IC 放射線曝露にかかる宣言

本機は、制御できない環境での使用について制定された、IC RSS-102 放射線曝露制限に準拠しています。本機を設置または操作する際は、ラジエーターから 20cm 以上離れた場所で行ってください。同一チャンネルの携帯機器の衛星システムに有害な干渉を引き起こす可能性を低減するために、5150 - 5825 MHz の帯域は室内でのみの使用が認められています。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps. Les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5825 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage.

同一チャンネルの携帯機器の衛星システムに有害な干渉を引き起こす可能性を低減するために、5150 - 5250 MHz の帯域は室内でのみの使用が認められています。

La bande 5150-5250 MHz est réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

## ヨーロッパ諸国における CE 準拠



本機は、EMC Directive 2014/30/EU、Low Voltage Directive 2014/35/EU、Ecodesign Directive 2009/125/EC、Radio Equipment Directive 2014/53/EU に準拠します。周波数範囲：2400 - 2483.5MHz, 5150 - 5250Mhz 最大出力電力：20dBm 環境にて

## 以下は、ヨーロッパ連合加盟国のための情報です。

右に示すマークは、Waste Electrical and Electronic Equipment Directive 2012/19/EU (WEEE) に準拠します。このマークは、分別されていない一般廃棄物として廃棄せず、お住まい地域の法律に基づいて回収する必要があることを意味しています。



電池、蓄電池、ボタンタイプの電池に Hg、Cd、Pb などの化学記号が記載されている場合は、0.0005% 以上の水銀、0.002% 以上のカドミウム、または 0.004% 以上の鉛を含む重金属が含まれていることを意味しています。

## RoHS2 準拠宣言

本機は、電気電子機器（RoHS2 指令）における特定の有害物質の使用に関する制限にかかる欧州議会理事会指令 2011/65/EU に準拠して設計、製造されており、以下に示すとおり欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する最大濃縮率に準拠しています。

物質	提案する最高濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr6 <sup>+</sup> )	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジエチルヘキシル (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ベンジルブチル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

**前述の一部の製品部品は、下記のとおり RoHS2 指令の付録 III から除外されます。適用除外コンポーネントの例：**

- 銅合金に含まれる銅が重量の 4% を超えないこと。
- 高融点タイプのはんだに含まれる銅（重量の 85% 以上が銅の銅ベースの合金など）。
- 圧電性機器など、蓄電器の誘電体磁器以外のガラスまたは磁器に含まれる鉛を含む電気および電子部品、またはガラスや磁器マトリックス混合物。
- 125V AC または 250V DC 以上のキャパシタ内のセラミック誘電体に使われている鉛。



## インドの有害物質に関する制限

有害物質に関する制限宣言（インド）。本製品は「India E-waste Rule 2011」に準拠しており、同規則の別表 2 に記載する例外を除き、重量の 0.1% を超える量の鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、重量の 0.01% を超える量のカドミウムの使用を禁止しています。

## 著作権情報

Copyright© NOMVDIC Corporation, 2023。複製を禁ず。

NOMVDIC™ は、NOMVDIC Corporation の商標であり、米国およびその他一部の国において商標出願中です。

**おことわり：**本書で紹介するサードパーティのアプリケーションやアプリケーションストアは、紹介する目的で掲載されています。各社のロゴ、商標の所有権は各社に帰属するものであり、弊社製品のスポンサーでも弊社の関連会社でもありません。

## カスタマーサービス

テクニカルサポートまたは製品補修については、次の方法でお問合せください。<https://nomvdic.io/pages/contact>、  
またはEメールでお問合せください：[hello@nomvdic.io](mailto:hello@nomvdic.io)

NOMVDIC™ 製品の保証登録は、<https://nomvdic.io/pages/warranty> で行ってください。

**注：**製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。

## 限定保証

### 保証範囲：

NOMVDIC™ は保証期間内において、材料および製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間内に材料および製造上の欠陥が認められる場合は、NOMVDIC™ の独自の判断により製品を修理または同等製品と交換します。交換製品またはパーツには、再生または改修済みパーツまたはコンポーネントも含まれます。交換ユニットは、元々の制限付き保証の残り期間を鑑みた上で保証されます。NOMVDIC™ は、製品に含まれていたか、お客様ご自身でインストールされたかに関わらず、サードパーティのソフトウェアについて、また弊社が認めていないハードウェアパーツまたはコンポーネントを装着した結果生じた結果について一切責任を負いません。（詳細は、「保証対象外」をお読みください）

### 保証期間：

NOMVDIC™ Projector

1年間限定保証

リモコン

6年間限定保証

ACアダプター

6年間限定保証

### 保証対象者：

この保証は、最初の購入者に対してのみ提供されます。

### 保証範囲：

1. 電池、電源コード、3.5 mm オーディオケーブル、USB-C ケーブルなどの消耗品の正常な消耗については、素材の欠陥や製造過程における欠陥によって生じたダメージを除き、本保証の対象外となります。また、誤用、事故、改ざん、不法な補修によるダメージ、および素材の欠陥や製造過程における欠陥以外のダメージについても本保証の対象外となります。
2. シリアル番号が破損、改ざん、取り外されている製品。

### 3. 破損、劣化、故障の原因：

- » 事故、誤用、放置、火災、水害、落雷、その他の自然災害、許可されない改造、本製品に付帯される指示に従わない使用。
- » NOMVDIC™ が認めない人物による補修または補修の試み。
- » プログラム、データ、リムーバルストレージメディアのダメージまたは消失。
- » 出荷時の不具合。
- » 電力サージや停電などの外部からの原因。
- » 通常の摩耗、消耗。
- » プロジェクターのフィルターなどを掃除するなど、所有者がユーザーガイドに記載されている定期補修を怠った場合。
- » 製品の欠陥に関係しない原因。
- » ハードウェア / アクセサリ / パーツ / コンポーネント - 弊社が認めないハードウェア、アクセサリ、コンポーネントの使用。
- » ユーザーガイドに記載されていない方法でのお手入れなどによる、ディスプレイの表面コーティングに対するダメージや誤用。

### 補修を受けるには：

保証についての詳細は、[hello@nomvdic.io](mailto:hello@nomvdic.io)までお問合せください。保証を受けようとする際は、次の情報をお手元にご用意ください。

- シリアル番号
- 購入日がわかる領収書
- お名前
- Eメールアドレス
- 電話番号
- 住所
- 問題の詳しい症状

NOMVDIC™ は、運送会社により運送中に生じたダメージについては一切責任を負いません。

製品の返却時に生じたダメージに対して保証を受けられるように、保険を掛けることをお勧めします。



NOMVDIC™